

STAR

バキュームカー

取扱説明書・部品表

製品コード	K31181	・ K31189
型式	TVC1020	・ TVC1021
部品供給型式	AVC1020-05	
製品コード	K31182	・ K31190
型式	TVC1520	・ TVC1521
部品供給型式	AVC1520-05	
製品コード	K31183	
型式	TVC2520	
部品供給型式	AVC2520-05	

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社





安全に作業するため

安全に関する警告について

本機には、**⚠**印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて

⚠ 危険

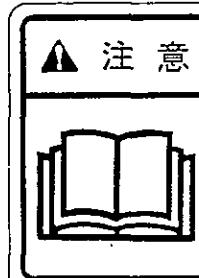
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

⚠ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

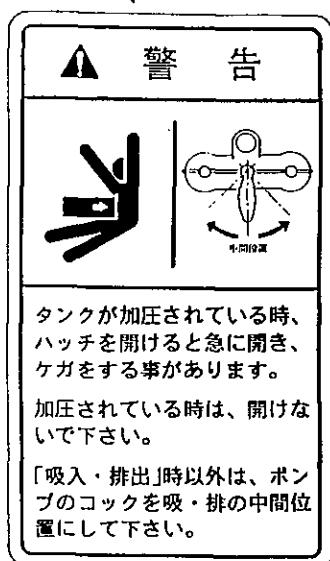
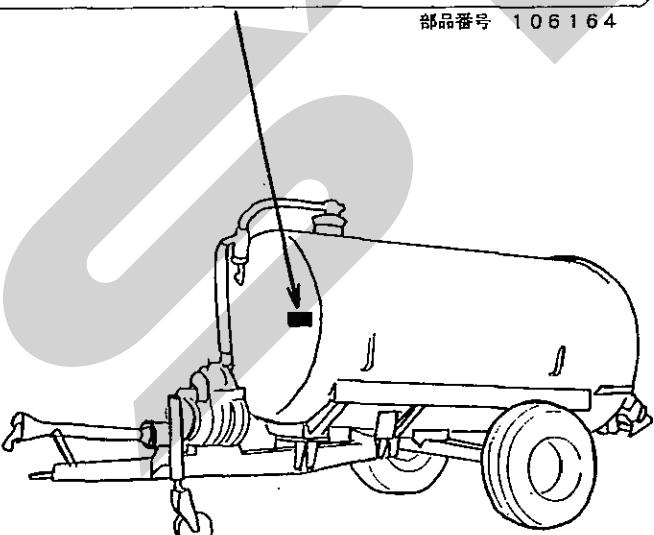
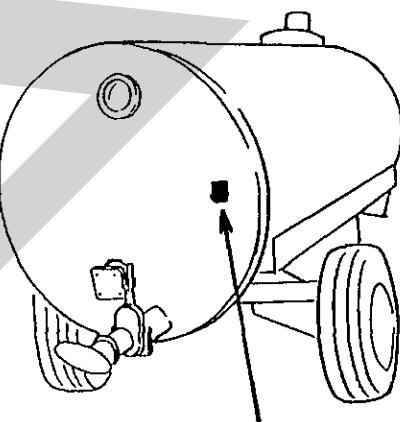
⚠ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。



本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。
 1. 作業に適し、だぶつ者のない服装で行って下さい。
 2. 高を飲んだとき、過労ぎみ、病気や妊娠しているときは、作業をしないで下さい。子供には運転させないで下さい。
 3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。
 4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。
 5. 点検や調整をするときは、必ずP.T.Oなどの動力遮断や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。
 6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。
 7. 他人に本機を見すときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようすすめて下さい。

部品番号 106164



タンクが加圧されている時、ハッチを開けると急に開き、ケガをすることがあります。
 加圧されている時は、開けないで下さい。
 「吸入・排出」時以外は、ポンプのコックを吸・排の中間位置にして下さい。

部品番号 106460

— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものです。

ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してからご使用ください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存しているため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。取扱説明書は、分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。
次の場合は、運転しないでください。
 - 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
 - 酒を飲んだ時。
 - 機械操作が未熟な人。
 - 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。
次に示す服装で作業してください。
 - 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
 - ズボンや上着は、だぶつきのないもの

を着用する。

□帽子を着用する。

□はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は、

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬため、思わぬ事故を起こす事があります。

取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

機械の改造はしないでください。

アタッチメントは当社指定製品を使用してください。

部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検の励行

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。
作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

▲警告

- エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行うと、緊急事態への対処ができます、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。
運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。
- エンジンを始動する時、主变速レバーを「N」(中立)にして行わないと、变速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。
主变速レバーを「N」(中立)にして行ってください。
- 急発進するとトラクタ前輪が浮き上がる事があり、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。

- 室内で始動する時、排気ガスにより中毒になることがあります。
窓、戸などを開け、十分に換気してください。
- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをすることがあります。
PTOを切ってから始動してください。

作業機を着脱する時は

▲警告

- 作業機を連結するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人がいると、挟まれてケガをすることがあります。
トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

▲注意

- 作業機をトラクタに連結する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こすことがあります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業機をトラクタから切り離す時、輪止めをせずに行うと、作業機が暴走して思わぬ事故を起こすことがあります。
切り離す時は、スタンドを接地させ、作業機の車輪に輪止めをしてください。
- 連結するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となって、思わぬ事故をまねくことがあります。
トラクタへフロントウエイトを取り付け、バランスを取ってください。

パワージョイントを使用する時は

▲危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをすることがあります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをすることがあります。
損傷したらすぐに取り替えてください。
使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをすることがあります。
PTOを切り、トラクタのエンジンをとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをすることがあります。
トラクタ側と作業機側のチェーンを回転し

ない所に連結してください。

▲注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをすることがあります。
- 最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをすることがあります。
- 適正な重なり量で使用してください。
- パワージョイントを接続した時、クラシップピンが軸の溝に納まっていると、使用中に外れ、ケガをすることがあります。
溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

公道走行時は作業機の装着禁止

▲注意

- トラクタに作業機を連結して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。
トラクタに作業機を連結しての走行はしないでください。

移動走行する時は

▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねく事があります。
ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをすることがあります。
トラクタには、運転者以外の人は乗せないでください。
- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。
急制動・急旋回はしないでください。
- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。
低速走行してください。
- 旋回する時、内輪差により周囲の人を作業機に巻き込み、ケガをさせる事があります。
周囲の人や障害物との間に十分な間隔を保ってください。
- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で

路肩を走行すると転落事故を起こす事があります。

路肩は走行しないでください。

- 高低差が大きい段差を乗り越えようすると、トラクタが転倒あるいは横転し、ケガをする事があります。

あゆみ板を使用してください。

- 作業機の上に入を乗せると、転落し、ケガをする事があります。

作業機の上には、人を乗せないでください。

▲注意

- 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。

移動走行する時は、P T Oを切ってください。

作業中は

作業する時は

▲警告

- タンクが加圧されている時、ハッチを開けると急に開き、ケガをする事があります。加圧されている時は、開けないでください。「吸入・排出」時以外は、ポンプのコックを吸・排の中間位置にしてください。

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。

- 作業機指定のP T O回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。

指定回転速度を守ってください。

- 作業機の上に入を乗せると、転落し、思わぬ事故をまねく事があります。

作業機の上には、人を乗せないでください。

- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。

低速で作業してください。

下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。

坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。

- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。

前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。

- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります。

しっかりとハンドルを握って運転してください。

▲注意

- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、P T Oおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。

P T Oを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。

トラクタから離れる時は

▲警告

- トラクタから離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。

平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は

▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

終業点検の励行

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。
- ロワーリングで作業機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。
トラクタロワーリングの油圧回路をロックして行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲注意

- 機械に不調が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめてください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。
補修もしくは部品交換してください。
継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。
- ロワーリングで作業機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。
トラクタロワーリングの油圧径路をロックして行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

もくじ



安全に作業するため

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	5
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	5
作業中は	4			

1

トラクタへの装着

1 各部の名称	8	5 パワージョイントの装着	10
2 適応トラクタの範囲	9	1. 長さの確認方法	10
3 組立部品	9	(1) TVC1020、1520、2520の場合	10
1. 解樋	9	(2) TVC1021、1521の場合	11
2. 組立	9	2. 切断方法	11
4 トラクタへの装着	9	3. 安全カバーの脱着方法	12
1. ドローバへの連結	9	(1) TVC1020、1021、 1520、1521の場合	12
2. ロワーリンクへの連結	10	(2) TVC2520の場合	12
3. サンプバルブ 開閉ロッドの点検	10	4. パワージョイントの連結	12
4. トラクタ油圧取出口との接続	10			

2

運転を始める前の点検

1 運転前の点検	13	2 エンジン始動での点検	13
1. トラクタ各部の点検	13	1. 油圧系統	13
2. 連結部の点検	13	3 給油箇所一覧表	13
(1) ヒッチ部の点検	13			
(2) ロワーリンクと 2Pフレームの連結部点検	13			
(3) パワージョイントの点検	13			
3. 製品本体の点検	13			

3

作業の仕方

1 本 製 品 の 使 用 目 的	14
2 作 業 の 種 類	14
1. 吸 入 作 業	14
2. 排 出 作 業	15
3 各 部 の 調 整	15
1. オープンハッチ	15
2. 連 成 計	16
3. 吸入自動停止装置	16
4. ポ ン プ	16
5. タンク傾斜	16
6. 輪 止 め	17
7. ヒッチ長さの調整	17

4

作業が終わったら

1 作 業 後 の 手 入 れ	17
2 長 期 格 納 す る 時	18

5

点検と整備について

1 点 檢 整 備 一 覧 表	19
-----------------	-------	----

6

不調時の対応

1 吸 入 時 の 不 調	20
2 不 調 処 置 一 覧 表	20

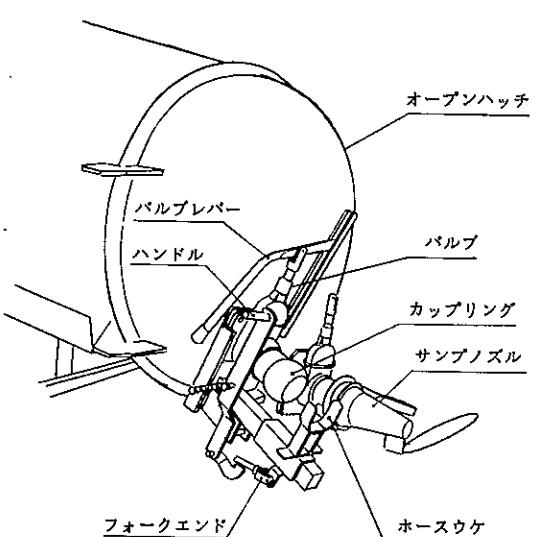
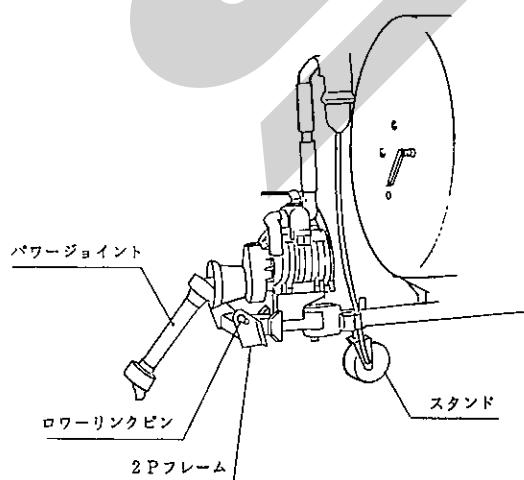
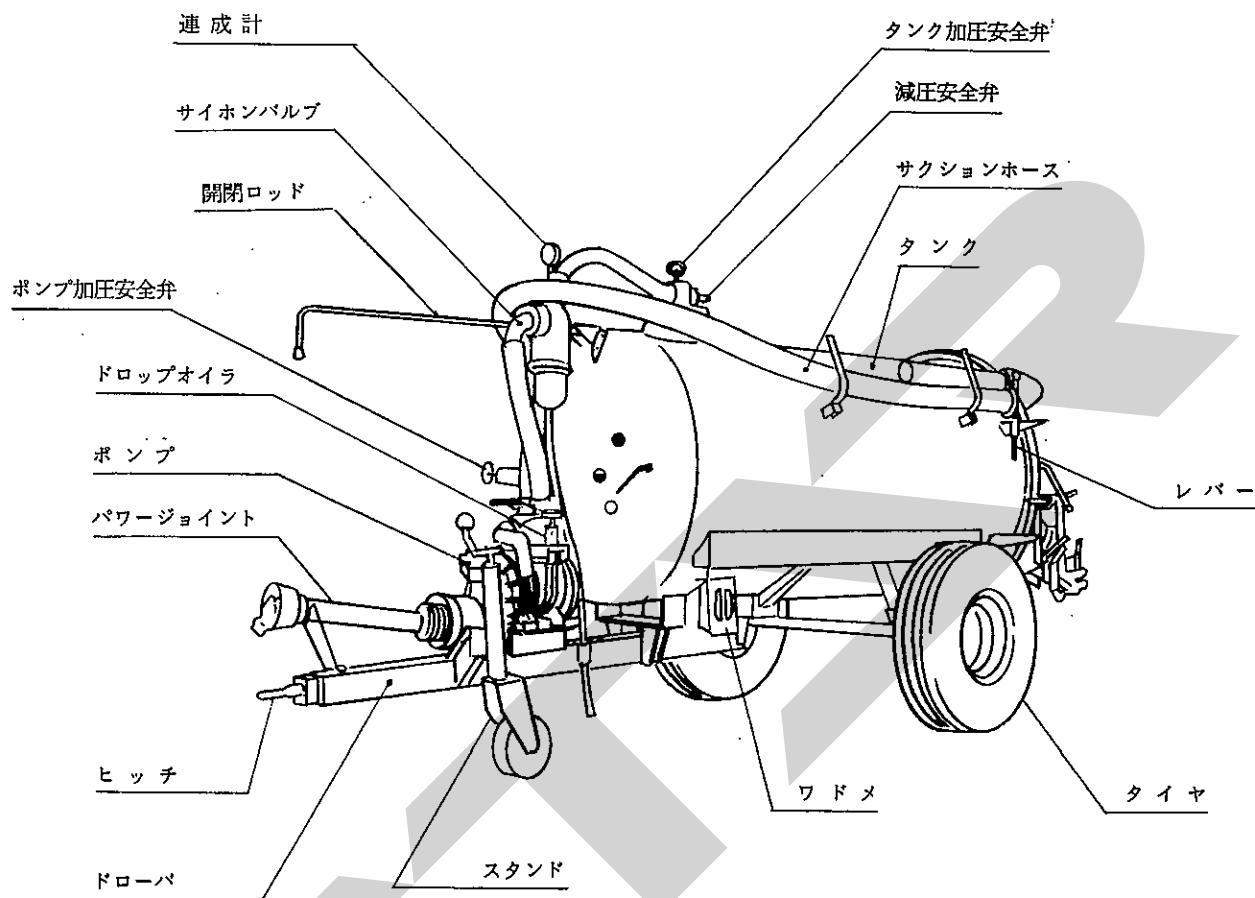
7

部 品 表

22

1 トラクタへの装着

1 各部の名称



2 適応トラクタの範囲

本製品は、適切なトラクタとの装着により的確に性能を發揮できるように設計されています。

不適切なトラクタとの装着によっては本製品の耐久性に著しく影響を及ぼしたり、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

この製品の適応トラクタ馬力は次の通りです。

型 式	適応トラクタ馬力
TVC1020	15 ~ 25 Ps
TVC1021	
TVC1520	20 ~ 45 Ps
TVC1521	
TVC2520	35 ~ 75 Ps

3 組立部品

1. 解 槻

- (1) タンク内にはパワージョイント、連成計、サンプノズル、サクションホースが入っています。
- (2) タンク後方の左側面に取付けのレバーでハッチを開け、取出してください。
- (3) 取出し後はハッチを元通り確実にロックしてください。(「3-3-1 各部の調整～オープハッチ」参照)

2. 組 立

- (1) サイホンバルブ上部のメクラキャップをはずし連成計を取付けます。
- (2) ハッチのバルブに取付けのカップリングにサンプノズルを取り付けます。

4 トラクタへの装着

1. ドローバへの連結

《TVC1020, 1520, 2520》

▲ 警 告

- 作業機を連結するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人がいると、挟まれてケガをする事があります。トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

▲ 注 意

- 作業機をトラクタに連結する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業機をトラクタから切り離す時、輪止めをせずに行うと、作業機が暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
切り離す時は、必ず、スタンドを接地させ、作業機の車輪に輪止めをしてください。
- 連結するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となって、思わぬ事故をまねく事があります。
トラクタへフロントウエイトを取り付け、バランスを取ってください。

- (1) トラクタのけん引ヒッチ高さに作業機のヒッチ高さを合せます。(スタンドのハンドルで調整します)
- (2) トラクタのエンジンを始動して、トラクタを後進させ作業機のヒッチの穴に合せエンジンをとめます。
- (3) トラクタに附属のヒッチピンを通し連結し、抜けどめにリンチピン等をヒッチピンに差してください。

取扱い上の注意

ヒッチピンには抜止めのため、リンチピンあるいはベータピンを確実に挿入してください。

- (4) トラクタとセットされたらスタンドを一番短い状態まで上げ、折りたたんでください。

2. ロワーリンクへの連結

《TVC1021、1521》

- (1) トラクタのエンジンを始動して、トラクタのロワーリンク先端部と作業機の左右のロワーリンクピンの位置が合うまで後進して、トラクタをとめて下さい。
エンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。
- (2) 左のロワーリンク、右のロワーリンクの順に連結し、抜けどめにトラクタに付いているリンチピンをロワーリンクピンに差してください。
- (3) 左右のロワーリンクが同じ高さになるように、トラクタ右側のアジャストスクリューで調整してください。
- (4) トラクタのエンジンを始動して、トラクタ3点リンクを上昇する油圧レバーを操作して(スタンドがはずれる位まで)2Pフレームを上げエンジンをとめてください。
- (5) スタンドをはずし、逆向に取付けリンチピンで固定してください。

3. サンプバルブ開閉ロッドの点検

開閉ロッドはトラクタ座上から操作しやすい長さに調整します。

取扱い上の注意

旋回時はトラクタが開閉ロッドに近づいていきます。
トラクタに接触したり、破損しないように長さ調節してください。

4. トラクタ油圧取出口との接続

《TVC2520》

TVC2520のサンプバルブの開閉には油圧開閉ユニットが標準装備され、別売品として手動サンプバルブ開閉装置を用意しています。

また、TVC1020、1021、1520、1521には油圧開閉ユニットを別売品として用意しています。

- (1) 油圧シリングは単動式で、カプラは3/8オースが取付いています。
- (2) トラクタの油圧圧力は60kg/cm²以上必要です。
- (3) トラクタの油圧取出口に本作業機の油圧カプラを接続してください。

5 パワージョイントの装着

▲ 危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。損傷したらすぐに取り替えてください。使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。PTOを切り、トラクタのエンジンをとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲ 注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。
 - 最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。
- 適正な重なり量で使用してください

1. 長さの確認方法

(1) TVC1020、1520、2520の場合

- ① 作業機をけん引しながら前進しトラクタと作業機がほぼ一直線になった状態で停止してください。
- ② パワージョイント単体で、最縮長時の安全カバー(アウタ)端部位置を安全カバー(インナ)にマーキングしてください。
- ③ パワージョイント(アウタ)からパワージョイント(インナ)を引き抜いてください。
- ④ ピン付ヨークのクランプピンを押して、パワージョイントのインナとアウタをPTO軸、P.I.C軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。
- ⑤ 安全カバー同士を重ね合わせた時、パイプ(アウタ)とパイプ(インナ)の重なり量が100mm以下の場合は、販売店に連絡し、

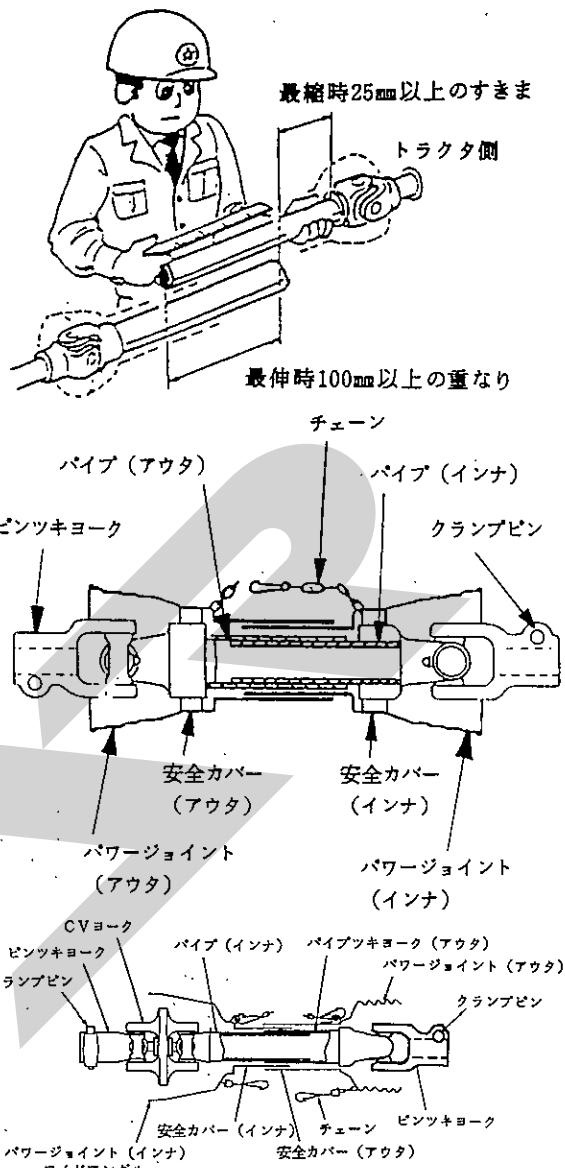
- 長いパワージョイントと交換してください。
- ⑥ PTO軸及びPIC軸からパワージョイントのアウタとインナを取りはずしてください。
 - ⑦ 作業機をけん引しながら旋回し、ドローバ側面とトラクタのタイヤの間隔が約20cm程度になった時、停止してください。
 - ⑧ ピン付ヨークのクランプピンを押して、パワージョイントのインナとアウタをPTO軸、PIC軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。
 - ⑨ 安全カバー同士を重ね合わせた時、安全カバー（アウタ）端部位置とマーキング位置の間隔が25mm以下の場合、25mmの間隔を保つように切断方法の手順に基づき切断してください。

取扱い上の注意

パワージョイントを上下に重ね合せた時、トラクタのタイヤに接触し、ほぼ直線状にならない場合はドローバ側面とトラクタのタイヤの間隔が広くなるようにトラクタを移動してください。

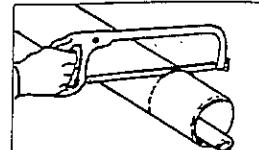
(2) TVC1021、1521の場合

- ① パワージョイント単体で、最縮長時の安全カバー（アウタ）端部位置を安全カバー（インナ）にマーキングしてください。
- ② パワージョイント（アウタ）からパワージョイント（インナ）を引き抜いてください。
- ③ 3点リンクを昇降させて、PTO軸とPIC軸が最も接近する位置で、昇降を停止してください。
- ④ ピン付ヨークのクランプピンを押して、PTO軸、PIC軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。
- ⑤ 安全カバー同士を重ね合わせた時、パイプ（アウタ）とパイプ（インナ）の重なり量が100mm以下の場合は、販売店に連絡し、長いパワージョイントと交換してください。
安全カバー（アウタ）端部位置とマーキング位置の間隔が25mm以下の場合、25mmの間隔を保つように切断方法の手順に基づき切断してください。

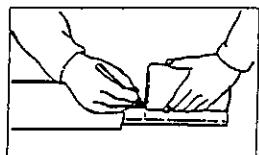


2. 切断方法

- (1) 安全カバーをアウタ・インナの両方を長い分だけ切り取ります。



- (2) 切り取った同じ長さをパイプの先端から計ります。



- (3) パイプのアウタ・インナ両方を金ノコまたはカッターで切断します。

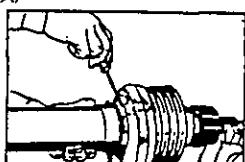
切断する時は、パイプの中にウエスを詰め、パイプ内面に切り粉が付着するのを防いでください。

- (4) 切り口をヤスリなどでなめらかに仕上げてからパイプをよく清掃し、次にグリースを塗布して、アウタとインナを組み合わせます。

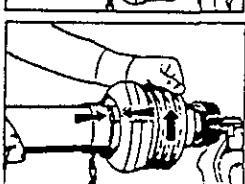
3. 安全カバーの脱着方法

- (1) T V C 1020、1021、1520、1521の場合
- ① 安全カバーからチェーンをはずしてください。
 - ② 安全カバーのチューブ側を固定し、ヨーク側カバーを反時計方向に回転してください。
 - ③ ヨーク側カバーをチューブ側に押すとヨーク側カバーが外れます。
 - ④ チューブ側カバーをパイプから抜いてください。
 - ⑤ 新しい安全カバーを組付ける時は逆手順で行なってください。
- (2) T V C 2520の場合
- 〈安全カバーの分解手順〉

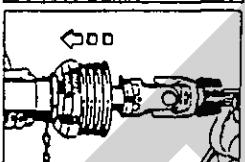
- ① 固定ネジを取り外してください。



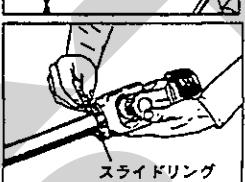
- ② 安全カバーを取はずし位置へ回してください。



- ③ 安全カバーを引き抜いてください。

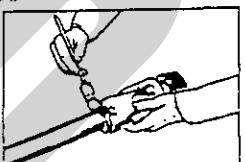


- ④ スライドリングを取り出してください。

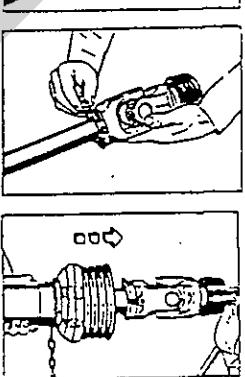


〈安全カバーの組立手順〉

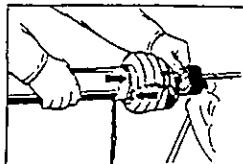
- ① ヨークのスライドリング溝とパイプ(インナ)に高品質グリースを塗ってください。
- ② スライドリングのつばをパイプ側に向け、切口を開いて溝にはめてください。



- ③ その上に安全カバーをはめてください。



- ④ カバーをしっかりと止まるまで回してください。



- ⑤ 固定ネジを締め付けてください。

4. パワージョイントの連結

- (1) ピン付ヨークのクランプピンを押して、作業機P I C軸及びトラクタP T O軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。

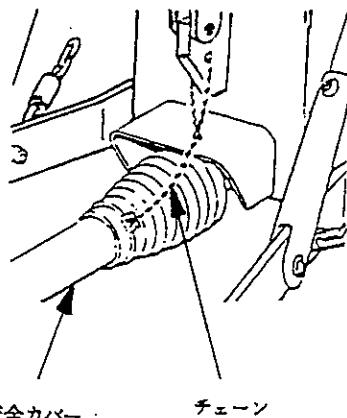
尚、T V C 2520の場合は、ワイドアングル側をトラクタP T O軸に連結してください。

▲ 注意

- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていないと、使用中に外れ、ケガをする事があります。溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

- (2) 安全カバーのチェーンを固定した所に取り付け、カバーの回転を防いでください。

チェーンは3点リンクの動きに順応できる余裕を持たせ、また他へのひっかかりなどがないように余分なたるみを取ってください。



安全カバー
チェーン

2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書に基づき点検を行ってください。

2. 連結部の点検

(1) ヒッチ部の点検

《TVC1020、1520、2520》

① トラクタのけん引ヒッチと作業機のヒッチの連結部点検。

② ヒッチピンにはリンチピン・ベータピンが確実に挿入されているか。

(2) ロワーリンクと2Pフレームの連結部点検 《TVC1021、1521》

① ロワーリンクピンにはリンチピンが確実に挿入されているか。

(3) パワージョイントの点検

① ジョイントの抜け止めのクランプピンが軸の溝に納まっているか。

② ジョイントカバーのチェーンの取付に余分なたるみはないか。また、適度な余裕はあるか。

③ ジョイントカバーに損傷はないか。損傷している時は、速やかに交換してください。

④ 不具合が見つかった時は、「1-5 パワージョイントの装着」の説明に基づき不具合を解消してください。

(4) 製品本体の点検

① ポンプのペーン用及びギヤ用オイルが十分入っているか確認します。

② 吸入自動停止装置のボールがスムーズに作動する状態にあるか確認します。

③ 安全弁のチェッククリングを引いて、スムーズに作動することを確認します。

④ オープンハッチ、マンホール等が完全に閉じられていることを確認します。

⑤ 各部のボトルナットのゆるみを確認します。

⑥ サイホンバルブ下部のコックが締っているか。(図→レバー横向)

⑦ タイヤの空気圧は正常か。標準空気圧は次表を参照ください。

⑧ ヒッチにピンが確実に入っていることを確認します

型 式	タイヤサイズ	空 気 圧
TVC1020		
TVC1021	10/80-12-6 PR	255KPa (2.6kg/cm ²)
TVC1520		
TVC1521		
TVC2520	11-15-8 PR	295KPa (3.0kg/cm ²)

2 エンジン始動での点検

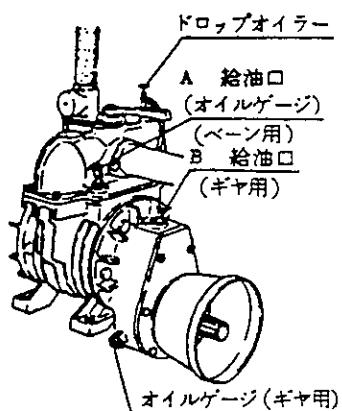
1. 油圧系統《TVC2520・AHV4000》

トラクタのエンジンを始動させ油圧を操作し後部ハッチに取付けのバルブ開閉がスムーズであれば異常はありません。

(サンプノズルをはずして確認します。)

3 給油箇所一覧表

- 給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。



No.	給油場所	箇所	潤滑油の種類	給油・交換時間	量	備考
1	ポンプ(ペーン)	1	ディーゼルエンジン オイル 10W-30	使用毎	600cc	補充
2	ポンプ(ギヤ)	1	ギヤオイルVG220	新規購入後50時間 以降200時間	250cc	交換
3	パワージョイント	2	グリース2号	使用毎	適量	給脂

3 作業の仕方

安全を確認し慎重に作業してください。

1 本製品の使用目的

1. 本製品の使用目的

- (1) 本製品は、水、家畜の糞尿を汲み上げ、散布する機械です。
- (2) 法的規制のある薬物、危険物の運搬、散布等には使用しないでください。

2 作業の種類

▲警告

- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをすることがあります。
PTOを切ってから始動してください。
- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをすることがあります。周囲に人を近づけないでください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねくことがあります。
低速で作業してください。
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。
坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。

1. 吸入作業

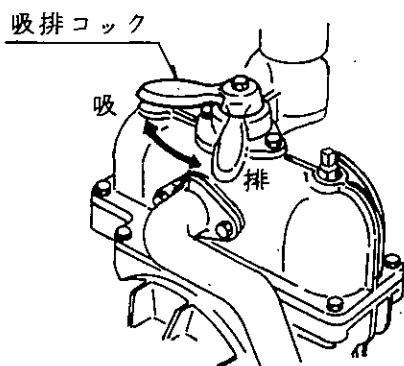
TVC1020、1021、1520、1521の吸入バルブ取付け位置は後部ハッチにあります。TVC25 20には吸入バルブの取付け位置がタンク左と後部ハッチの2ヶ所にあります。
便槽の位置、通路等の立地条件に合せ、バル

ブを付替えて使用ください。(工場出荷時は後部ハッチに取付いています)

- (1) サクションホースを便槽に入れます
深い便槽では全部落込んでしまうことがあります。角材等を利用しホースと結ぶ等、落込み防止を工夫しましょう。
- (2) 本作業機にはサクションホースのワンタッチ装着装置が標準装備となっています。
サクションホースのアダプタ部をホースウェに乗せ、ハンドルを倒す(横向にする)とカップリングと接続されます。(取はずしは逆手順となります)
- (3) ポンプの吸排コックを④の位置にしてトラクタのエンジンを始動させます。

PTOを低速回転(200~300rpm)で入れ
ポンプを始動させてください。

☆汲上げるもの状態(粘度、水分等)により回転数、真空度を変え効率よく作業を行ってください。



ポンプ本体

- | | |
|-------------|------------------------------------|
| ① 泡立がない水・尿 | PTO回転数 540rpm |
| | 真空圧力 -0.05~-0.07MPa
(40~50cmHg) |
| ② 泡立の多い尿・糞尿 | PTO回転数 300~400rpm |
| | 真空圧力 -0.04~-0.05MPa
(30~40cmHg) |

- (3) メタンガスが発生している糞尿
 PTO回転数 200~300rpm
 真空圧力 -0.03~-0.04MPa
 (20~30cmHg)

取扱い上の注意

泡立ちが多かったり、メタンガスが発生している尿・糞尿を汲み上げる時、ホースが長いと吸入抵抗が増加します。
 必要な長さを決めて、余分な部分は切断してください。

(4) 連成計が所定の真空圧になったらバルブを開き(レバーを上げる)吸入を始めてください。

(5) タンク前面の液面ゲージが満タンを示したらバルブを閉じ吸排コックを \textcircled{A} \textcircled{B} の中間にし PTOを停止します。

取扱い上の注意

タンク内にメタン発生中の糞尿を入れたままで、20~30分以上放置する場合及び散布場所への移動中は、タンク内に圧力が掛からないように、ポンプの吸排コックを中間位置(\textcircled{A} と \textcircled{B} との間)にして、タンク内に外気が出入りできる状態にしてください。

2. 排出作業

- (1) ポンプの吸排コックを \textcircled{B} の位置にして、トラクタエンジンを始動させます。
 PTOを低速回転(200~300rpm)で入れポンプを始動させてください。
- (2) 連成計が常用吐出圧力(0.07MPa(0.7kg/cm²))になったら、
 ① 手動開閉ユニット使用の場合
 TVC1020, 1021, 1520, 1521 …標準装備
 TVC2520 ………………オプション
 走行と同時に開閉ロッドをトラクタ側に引いて、バルブを開いて散布してください。
- ② 油圧開閉ユニット使用の場合
 TVC1020, 1021, 1520, 1521 …オプション
 TVC2520 ………………標準装備
 走行と同時にトラクタの油圧レバーを操作し、バルブを開き散布してください。
- (3) 敷設量は吐出圧力とトラクタの速度により異なります。ほ場の条件等に合せ調整してください。

3 各部の調整

▲ 注意

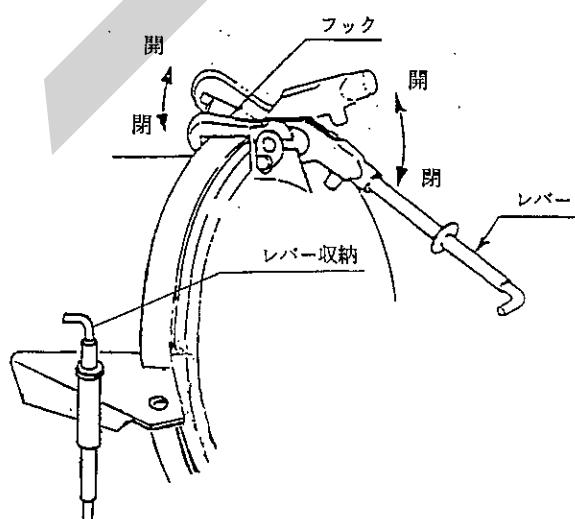
- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
 PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確めて行ってください。

取扱い上の注意

安全弁のセット圧力を調整するとタンク内の圧力が上昇しそぎ、機体を破損させることができます。
 調整しないでください。

1. オープンハッチ

- (1) ハッチはタンク後部に備え付いているレバーでフックボルトを外して開きます。



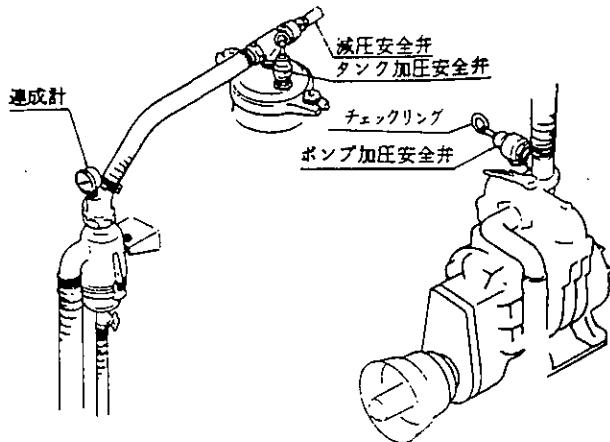
▲ 警告

- タンクが加圧されている時、ハッチを開けると急に開き、ケガをすることがあります。加圧されている時は、開けないで下さい。「吸入・排出」時以外は、ポンプのコックを \textcircled{A} ・ \textcircled{B} の中間位置にしてください。

- (2) ハッチを閉じる時は各フックボルトが均等に締まるようにフックボルトの長さを調整して締めてください。
 レバー使用後は元の場所に収納してください。

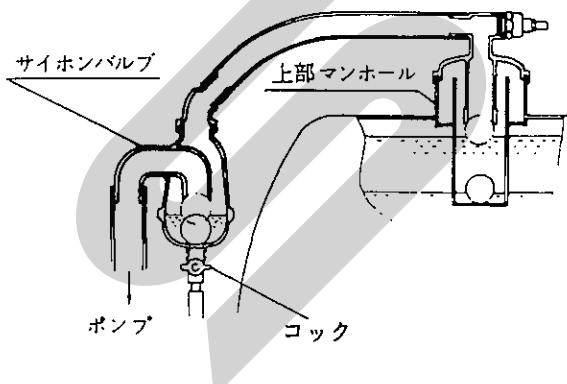
2. 連成計

タンク内の圧力を表示します。
外側の数字は従来の単位です。
内側の数字は国際単位(SI)です。
黒目盛……常用吐出圧力(排出)は、0.07MPa
(0.7kg f/cm²)です。
赤目盛……常用真空度(吸入)は、-0.07MPa
(50cmHg)です。



3. 吸入自動停止装置

吸入自動停止装置は、上部マンホール部と、サイホンバルブの2ヶ所に装備されています。
タンクが満タンになると、ボールが押し上げられ、吸入が自動的にストップします。
万一、糞尿が流入した場合、サイホンバルブが働き、ポンプ内への流入を防止します。
サイホンバルブ内に液がたまつたらコックを開き排出してください。



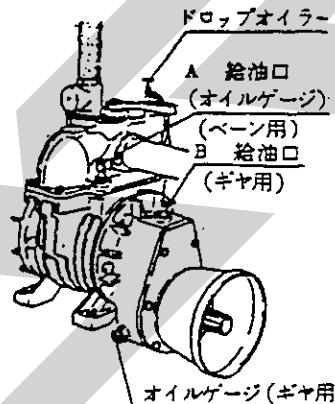
4. ポンプ

ベーン用オイルの滴下量は1分間に30~40滴が理想です。
ポンプのドロップオイラ頭部のつまみを廻し、調整してください。

取扱い上の注意

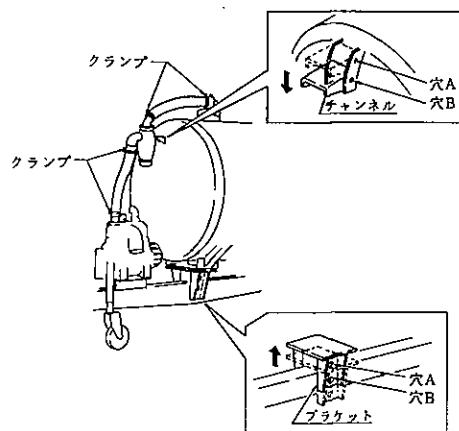
次のような使用の時は作業の所要時間が長くなりポンプ本体の表面温度が上昇します。
80°C以上にならないよう休止期間も入れ、注意しながら運転してください。

- ① 標準(7m)より長いホースで吸入する時
- ② 標準より細いホースで吸入する時
- ③ 細いホースを使用して排出する時



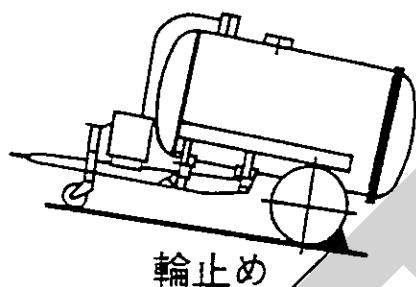
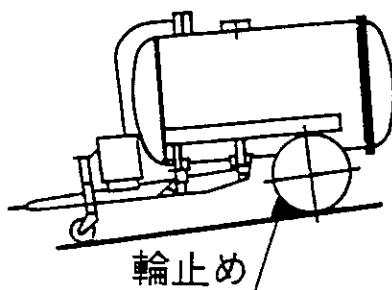
5. タンク傾斜

出荷状態よりも、タンクを傾斜させたい場合は、各クランプをゆるめ、更にチャンネル及びブラケットを穴A→穴Bへ付け替えてください。



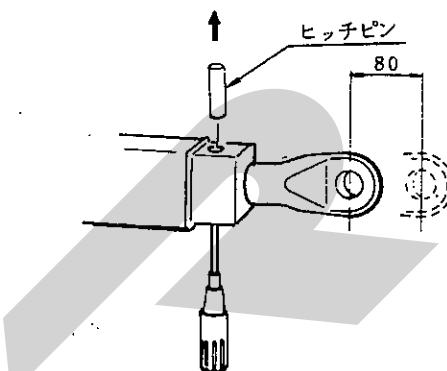
6. 輪止め

- (1) タンクの両サイドに輪止めが装備されています。
- (2) 駐・停車は平坦な場所で行ない、輪止めを使用してください。
- (3) やむを得ず傾斜地に駐・停車する時は、図の要領で左右のタイヤに輪止めを使用し、作業機が動かないことを確認してください。
- (4) 使用後は元の位置に収納してください。



7. ヒッチ長さの調節 (TVC2520に適用)

- (1) ヒッチは2段階に調整できます。出荷時ヒッチは短かい状態になっています。
キャップをはずしヒッチを縦にし、ドローバーの下側の穴にドライバー等を差し込み、ピンを抜きます。
- (2) ヒッチを引き出し (80mm) ピンを差し込みキャップをします。



4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをすることがあります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 使用後は、タンク内および自動吸入停止装置を水洗いしてください。
2. 吸入ホースは、糞尿槽から引き上げ、タンクのホース掛けに収納してください。
3. バルブ内の水、糞尿をすべて排出させ、バルブを開にして格納してください。
4. 冬期間、バルブおよびポンプを凍結させないように注意してください。

5. ポルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか。

異常があれば、ポルトの増締め、部品の交換をしてください。

6. PTO軸、PIC軸、ジョイントスライン部など塗装されていない露出部はさびを防ぐためグリースを塗布してください。

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。

2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。

3. 給油箇所一覧表に基づき、油脂を補給・交換してください。

また、回転、回動支点およびパワージョイントのクランプピンを含む摺動部には注油し、PTO軸、PIC軸、パワージョイントスライン部にはグリースを塗布してください。

4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。

5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

6. ポンプの内部は、外気との温度差により、結露を生じやすく、長期間放置しておくと錆を助長し、ポンプの破損原因となります。

長期間使用しない場合は、定期的（2週間ごと）にポンプを空運転して、オイルを循環させ錆を防止してください。

5 点検・整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こすことがあります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こすことがあります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行って下さい。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。補修もしくは部品交換してください。
継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力無くしてから行ってください。

1 点検整備一覧表

時 間	チ ャ ッ ク 項 目	処 置
新品使用 1 時間	全ボルト・ナットのゆるみ	増し締め
使用後45～50時間	ポンプギヤ用	オイル交換（以降は200時間毎交換）
使 用 每 (始業終業点検)	① 機械の清掃 ② ポンプのベーン用オイル ③ 部品脱落・破損部 ④ 各部のボルト・ナットの緩み ⑤ 各部油もれ ⑥ 各部の油脂類 ⑦ タイヤ空気圧	補 充 補充、交換 増し締め シールチェック、破損時交換 給油箇所一覧表に基づき給油、給脂 各部の点検に基づきチェック
シーズン終了後	ポンプ ① 各部の破損、摩耗 ② 各部の清掃 ③ 各部の給油、給脂 ④ 塗装損傷部	2週間毎にポンプを回転させ、 オイルを循環させる 早めの部品交換 給油箇所一覧表に基づき給油、給脂 塗装または油塗布

6 不調時の対応

エンジンをとめてから点検して下さい。

1 吸入時の不調

通常、常用真空圧及び吐出圧になるには1分間前後の時間がかかります。

吸入状態でPTO回転後数秒で常用真空圧に達する時、

- (1) タンク内の自動吸入停止装置が働いています。(ボールが吸付いている)
タンク内に圧力が残っています。
- (2) 一度ポンプの吸排コックを^④にし数秒間PTOを回転させると吸付いているボールがはなれます。
- (3) PTOを停止させポンプの吸排コックをゆっくり^{④⑤}の中間位置にし、タンク内の圧力を排出します。
- (4) 圧力が排出され連成計の圧力ゲージが「0」を指したら、吸排コックを^④にし、「1. 吸入作業」の手順に基づき作業してください。

上記以外の不具合が発生したら、「不調処置一覧表」に基づき処置してください

2 不調処置一覧表

▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。
補修もしくは部品交換してください。
継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。

症 状	原 因	処 置
サクションホースのアダプタとカップリング部からエアーをすう	押え付け不足	フォークエンドで調整する
ポンプ異常発熱	① オイル量が不足 ② サイドキャップとベーンのスキマ不足 ③ ベアリング、ギヤ、シャフト損傷 ④ 標準以外のホース（径、長さ）で長時間作業した時	適正量にまでオイルを注入する。 ポンプとサイドキャップの間に0.1～0.3mmのシムを入れる 部品を交換する 休止させる
タンク満タンに汲めない	① サクションホースとアダプタ継目からのエアー吸込み ② 発酵過程でメタンガスが発生している	クランプの増締（シール剤注入） PTO回転速度を下げる（200～300rpm） 真空圧力を下げる（-0.03～-0.04MPa）
オープンハッチからエアー漏れ	① フック締付け不足 ② パッキン損傷	フックをはずしフックボルトの長さ調整し 再度締め直す パッキン交換
連成計の圧力ゲージが0にもどらない	① ポンプの吸排レバーが 回 か 掛 にセットされている ② 連成計故障 ③ 安全弁が作動不良	ポンプの吸排コックを 回 掛の中間位置にする 部品交換する 安全弁のチェッククリングを引いて作動確認する 部品交換する
吸入時、数秒で常用真空圧になる	タンク内の自動停止装置が働いている（ボールが吸付いている）	吸排コックを 回 にし、PTOを数秒回転させる（吐出圧）PTOを停止させ、吸排コックをゆっくり 回 掛の中間位置にし、タンク内の圧力を排出する
ベーン用オイルが出ない	① オイルが不足 ② ホース継手、ドロップオイラが詰つてゐる ③ ホースがやぶれてる ④ ポンプ上部のベーン用オイルタンク内のホースがホース継手からはずれています	適正量までオイルを注入する 掃除する ホースを交換する ホースを付ける

原因や処置のしかたがわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式（型式）
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）

7 部品表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式（型式）
- ③ 部品名称（部品表を参照してください）
- ④ 部品番号（　　”　　）
- ⑤ 個数（　　”　　）

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「付」と表示している部品は、該当見出番号の部品が付属しております。

（例）

見出番号	部品番号	部分名称	個数
1	92602	シャフト	<input checked="" type="checkbox"/> 付 2
2	ONAS6	グリースニップル；A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により、部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

（例）BZ0815A (G)

(メッキ仕上げ)
A ; ナット・スプリングワッシャ付
D ; ナット2個付
N ; ナット付
P ; ワッシャ付
W ; スプリングワッシャ付

5. 個数欄の・は、以下のことを表しております。

…シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品。

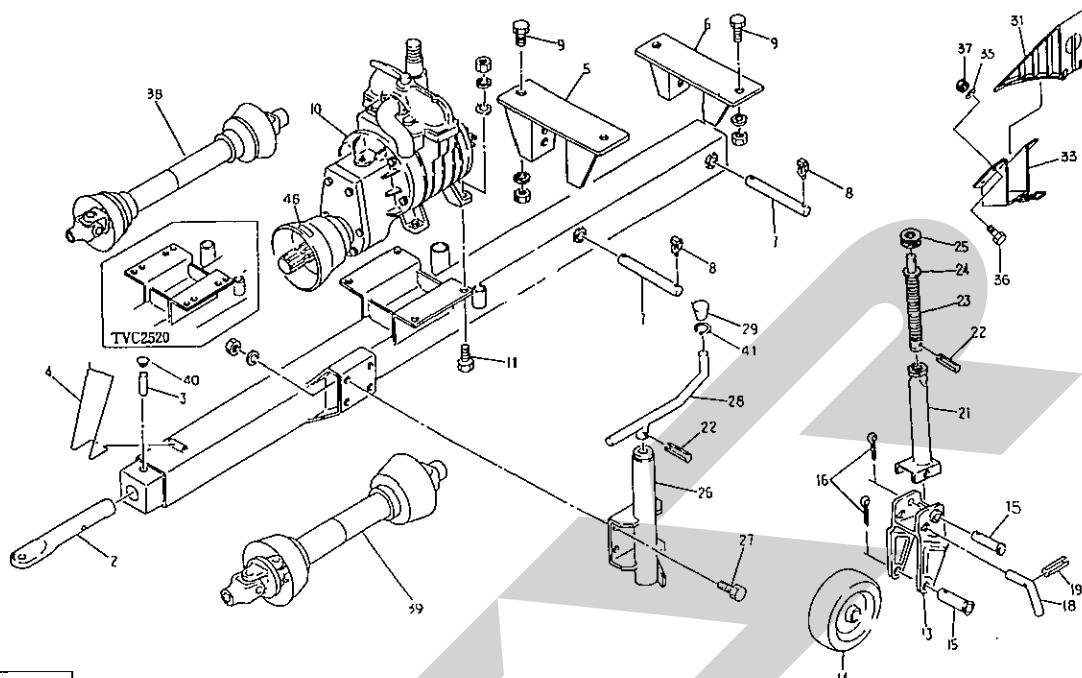
…アッセイ品に含まれる部品で、単品では供給しない部品。

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

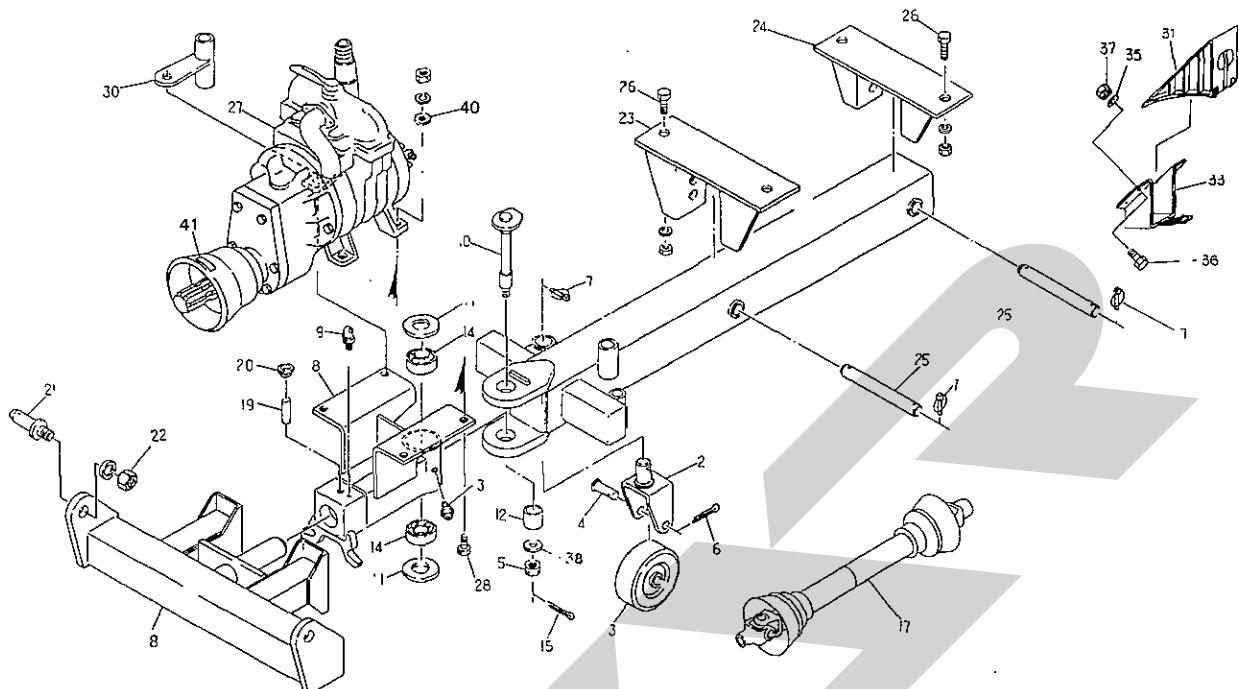
補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

TVC1020・1520・2520バキュームカー
ドローバ・スタンド・ポンプ



番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
2	76700	ヒッチカン 1020、1520	1	22	PS8032	スプリングピン；8×32	2
	66323	ヒッチカン 2520	1	23	46003	シャフト 1020、1520	1
3	76701	ピン 1020、1520	1		63727	シャフト 2520	1
	78718	ピン 2520	1	24	58616	サガネ	1
4	68168	ブラケット	1	25	J51104	スラストベアリング；51104	1
5	81894	ブラケット；F 1020、1520	1	26	68503	ブラケット 1020、1520	1
	81990	ブラケット；F 2520	1		66372	ブラケット 2520	1
6	81895	ブラケット；R 1020、1520	1	27	BZ1230AG	ボルト；M12×30 (8.8)	4
	81991	ブラケット；R 2520	1	28	58636	ハンドル	1
7	81896	ピン 1020、1520	2	29	66724	グリップ	1
	81992	ピン 2520	2	ASY	103275ASY	スタンド(クミ) ⑧13~26,28,29付 1020,1520	1
8	00739	リンチピン；9	4	ASY	103276ASY	スタンド(クミ) ⑧13~26,28,29付 2520	1
9	BZ2050AG	ボルト；M20×50 (8.8) 1020、1520	4	31	102737	ホイールロック	2
	BZ2050AG	ボルト；M20×50 (8.8) 2520	8	33	102889	キャリア	2
10	64254	ポンプ；3000型 1020、1520	1	35	44297	ワッシャ；8	8
	91135	ポンプ；4000型 2520	1	36	BZ0816G	ボルト；M8×16 (8.8)	8
11	BZ1460AG	ボルト；M14×60 (8.8) 1020、1520	4	37	NP08G	スプリングナット；M8	8
	BZ1450AG	ボルト；M14×50 (8.8) 2520	4	38	00614	パワージョイント；SG-070 1020、1520	1
13	103278	アーム	1	39	6316-4	パワージョイント；WS-70 2520	1
14	103277	ホイール	1	40	MS17	穴用メクラキャップ；φ17	1
15	68131	ピン	2	41	58640	バネ	1
16	PC5036G	ワリピン；5×36	2	42	72968	ワッシャ；14	4
18	58642	ピン	1	45	31872	吸排指示ラベル	1
19	PS6025	スプリングピン；6×25	1	46	88978	ラベル；500~540rpm	1
21	46005	ホルダ 1020、1520	1				
21	63725	ホルダ 2520	1				

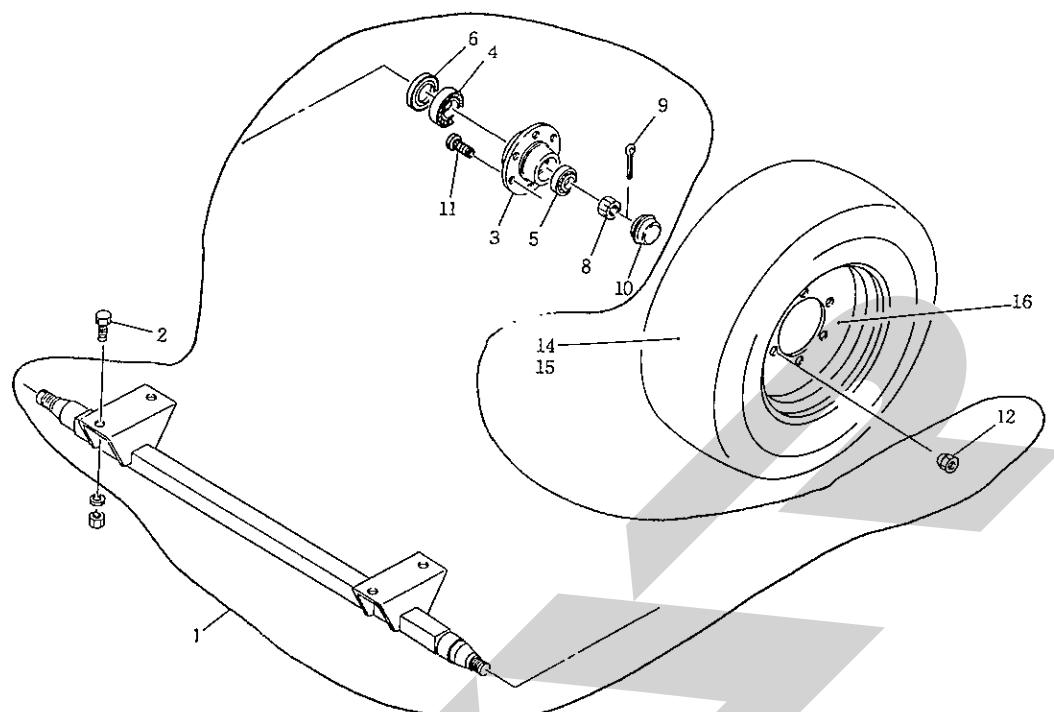
TVC1021・1521バキュームカー
ドローバ・コネクタ・2Pフレーム・ポンプ



12425-4

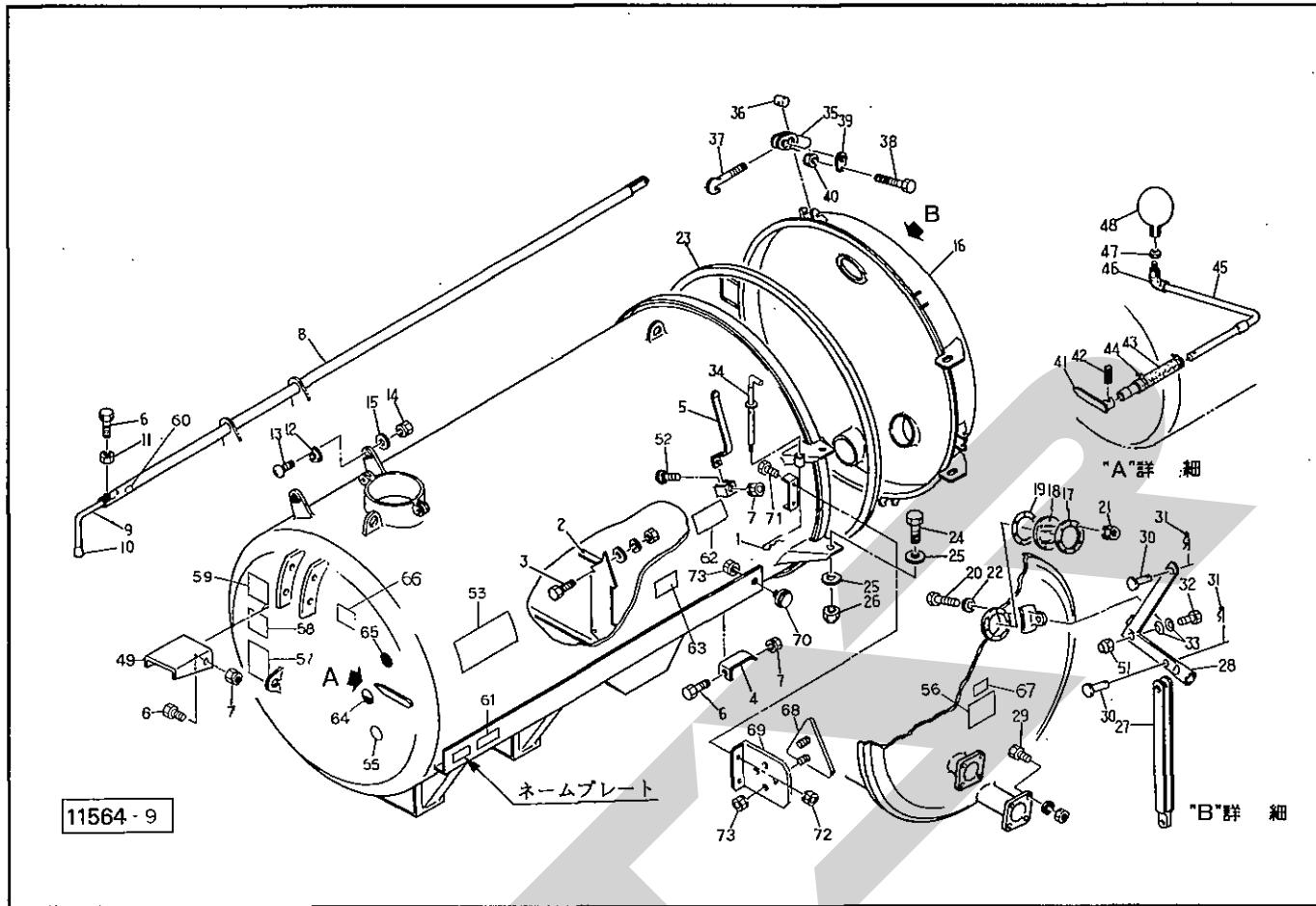
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
2	103280	キャスター	1	28	BZ1460AG	ボルト ; M14×60 (8.8)	4
3	103277	ホイール	1	30	91600	ブラケット	1
4	68131	ピン	④6付	31	102737	ホイールロック	2
6	PC5036G	ワリピン ; 5×36	1	33	102889	キャリア	2
7	00739	リングピン ; 9	5	35	44097	ワッシャ ; 8	8
8	87927	コネクタ ; VS	1	36	BZ0816G	ボルト ; M8×16 (8.8)	8
9	ONBS6	グリスニップル ; B-M6×1F	1	37	NP08G	スプリングナット ; M8	8
10	85995	シャフト	④15、16付	38	WRA24G	ワッシャ ; M24	1
11	85996	プレート	2	39	31872	吸排指示ラベル	1
12	85997	カバー ; 30×30	1	40	72968	ワッシャ ; 14	4
13	ONAS6	グリスニップル ; A-M6×1F	1	41	88978	ラベル ; 500~540rpm	1
14	J30206	ベアリング ; 30206	2				
15	00712	キャッスルナット ; M24×1.5	1				
16	PC4032	ワリピン ; 4×32	1				
17	00611	ジョイント ; SG-040	1				
18	87764	2P フレーム ; VS	1				
19	76701	ピン	1				
20	MS17	穴用メクラキャップ ; φ17	1				
21	00006	ロワーリングピン ; O・I	④22付				
22	NZ22150WG	ナット ; M22×1.5 (8)	2				
23	81894	ブラケット ; F	1				
24	81895	ブラケット ; R	1				
25	81896	ピン	2				
26	BZ2050AG	ボルト ; M20×50 (8.8)	4				
27	64254	ポンプ ; 3000型	1				

TVC1020・1021・1520・1521・2520バキュームカーチャジク・タイヤ・ハブ



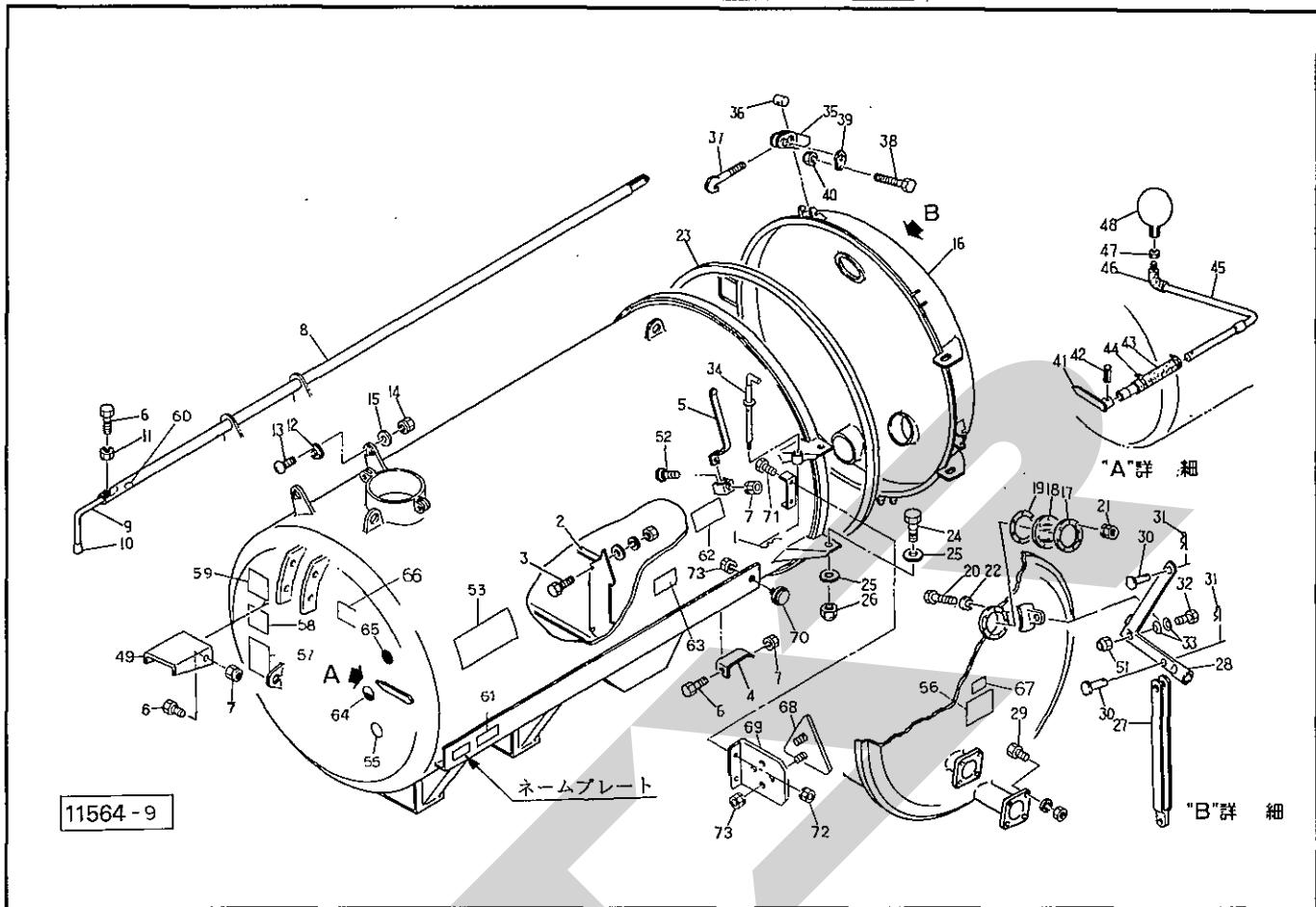
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	103425	ハブツキチャジク 1020、1021、1520、1521	1		00878	ボルト ; M18×1.5×49	2520
	103423	ハブツキチャジク 2520	1	12	00871	ホイールナット ; M16×1.5	1020、1021 1520、1521
2	BZ1640AG	ボルト ; M16×40 (8.8)	4		00884	ホイールナット ; M18×1.5	2520
3	00873	ハブ ; F62×80 1020、1021、1520、1521	2	14	00379	タイヤ ; 10/80-12-6PR	1020、1021 1520、1521
	00880	ハブ ; F90×120 2520	2		00384	タイヤ ; 11L-15-8PR	2520
4	J30208	テーパベアリング ; 30208 1020、1021 1520、1521	2	15	00386	チューブ ; 10/80-12	1020、1021 1520、1521
	J30213	テーパベアリング ; 30213 2520	1		00389	チューブ ; 11L-15	2520
5	J30206	テーパベアリング ; 30206 1020、1021 1520、1521	2	16	00854	ホイール ; 7.00×12 1020、1021、1520、1521	2
	J30210	テーパベアリング ; 30210 2520	1		00484	ホイール ; 10J×15	2520
6	00874	シールワッシャ ; 40×80 1020、1021 1520、1521	2	ASY	00856ASY	タイヤ(クミ) ; 10/80-12-6PR	1020、1021 1520、1521
	00881	シールワッシャ ; 65×120 2520	2	ASY	00862ASY	タイヤ(クミ) ; 11L-15-8PR ⑩14~16組立品	2520
8	00712	キャッスルナット ; M24×1.5 1020、1021 1520、1521	2				
	00882	キャッスルナット ; M39×2.0 2520	2				
9	PC4032G	ワリピン ; 4×32 1020、1021 1520、1521	2				
	PC6356G	ワリピン ; 6.3×56 2520	2				
10	00415	キャップ ; 62 1020、1021 1520、1521	2				
	00883	キャップ ; 90 2520	2				
11	00870	ボルト ; M16×1.5×45 1020、1021 1520、1521	10				

TVC1020・1021・1520・1521バキュームカーランク・ハッチ・カイヘイリンク・ゲージ



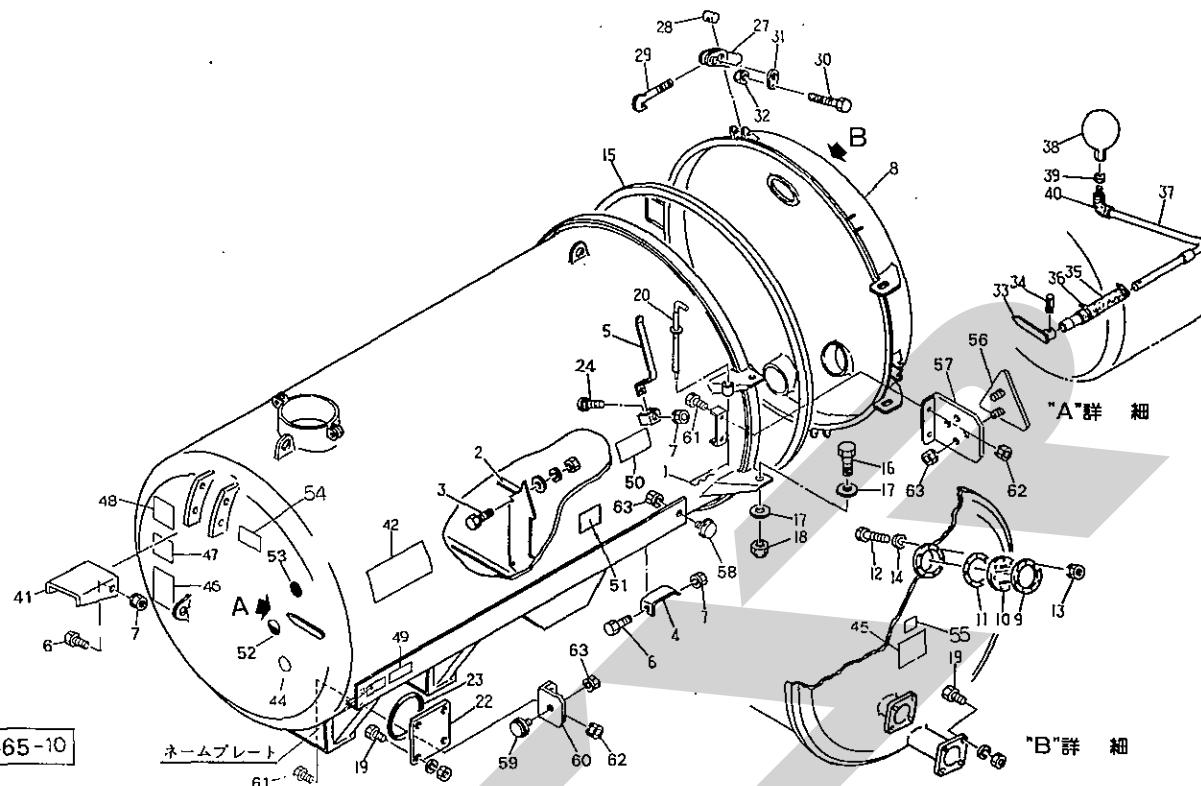
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数	
1	00088	ベータピン ; 19×3	1	25	WRA20G	ワッシャ ; M20	4	
2	81899	プレート	1520、1521	1	26	NN20G	ナイロンナット ; M20	2
3	BC1025	ボルト ; M10×25 (SUS)	1520、1521	4	27	75899	ロッド	1
4	81556	ハッチガイド	1	28	81920	レバー	1	
5	58575	ブラケット	4	29	BZ1235AG	ボルト ; M12×35 (8.8)	4	
6	BZ1025G	ボルト ; M10×25 (8.8)	4	30	00063	ピン ; B12×40	2	
7	NP10G	スプリングナット ; M10	7	31	00087	ベータピン ; 16×2.3	2	
8	81900	レバー	1020、1021	1	32	BA1660G	ボルト ; M16×60	1
	82141	レバー	1520、1521	1	33	WC16G	サラワッシャ ; M16	2
9	75561	パイプ	1	34	64143	レバー	1	
10	00688	ニギリ ; 20	1	35	81923	レバー	6	
11	NAB10G	ナット ; M10	1	36	81922	コマ	6	
12	35581	パイプガイド	2	37	58593	フックボルト	6	
13	CP0625G	ナベコネジ ; M6×25	6	38	BA0880G	ボルト ; M8×80	6	
14	NP06G	スプリングナット ; M6	6	39	81924	プレート	12	
15	WRA06G	ワッシャ ; M6	6	40	NP08G	スプリングナット ; M8	6	
16	81919	カガミ ; 950	1	41	73037	ゲージ	1	
17	65081	プレート	1	42	PS5020	スプリングピン ; 5×20	1	
18	65082	レベルゲージ	1	43	58654	ゴムチューブ	1	
19	65083	ガスケット	1	44	64230	ワイヤクランプ ; 23	2	
20	BC0845	ボルト ; M8×45 (SUS304)	8	45	81935	アーム	1	
21	NP08G	スプリングナット ; M8	8	46	64658	ビニールチューブ	1	
22	WA08	ワッシャ ; M8 (Aℓ)	8	47	NAB12G	ナット ; M12	1	
23	58758	パッキン ; 950	1	48	58656	ゲージフロート	1	
24	BA2060G	ボルト ; M20×60	2	ASY	81923ASY	レバー (クミ)	⑧35~40付	

TVC1020・1021・1520・1521バキュームカータンク・ハッチ・カイヘイリンク・ゲージ



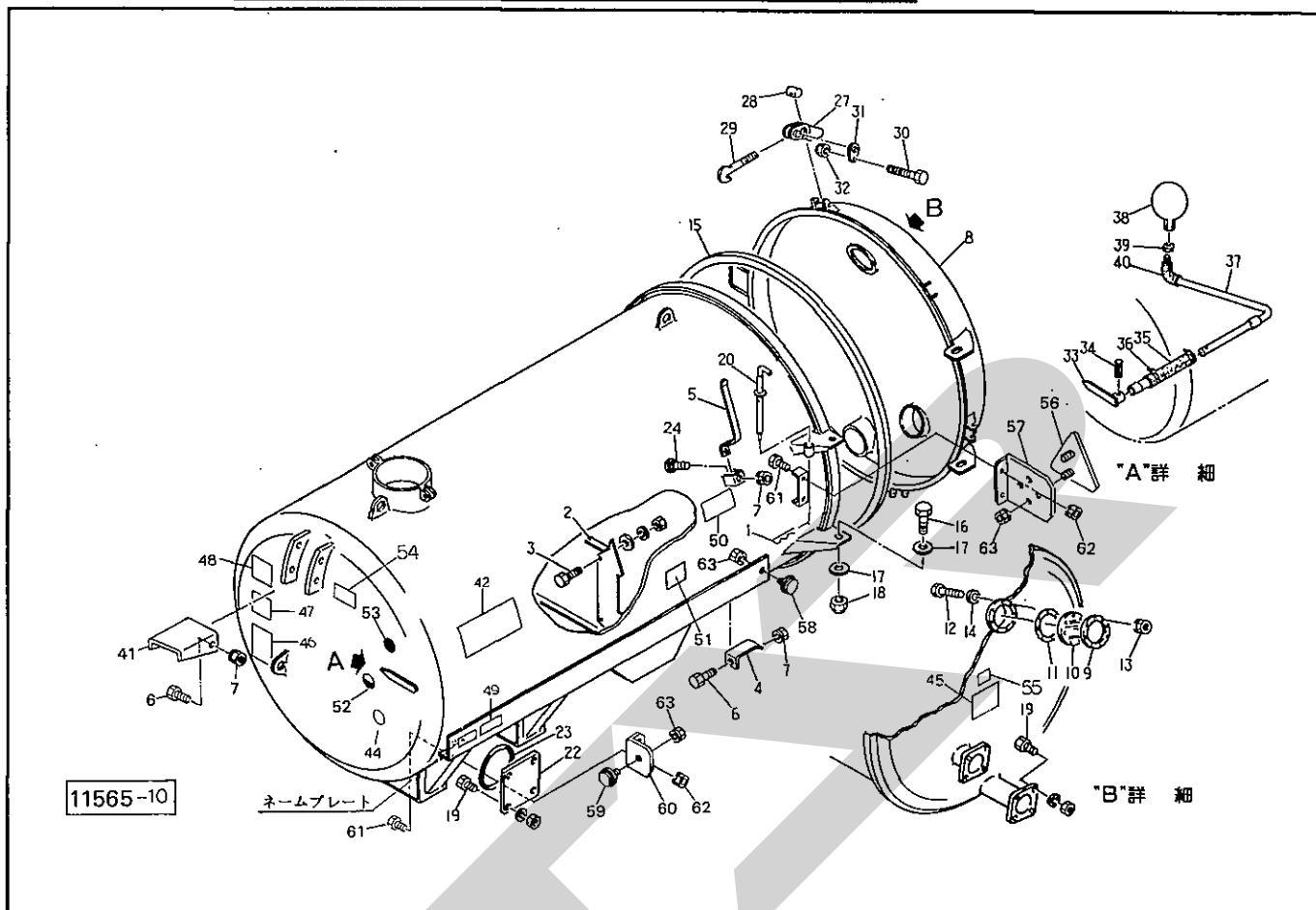
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
49	83988	チャンネル 1020、1021、1520、1520	1				
51	NN16G	ナイロンナット；M16	1				
52	00451	カクネボルト；M10×25	4				
53	00841	STARマークラベル(赤)；63	2				
55	106811	マーク；液面-1	1				
56	58541	チュウaimark	1				
57	64162	チュウイラベル	1				
58	35576	ポンプキュウラベル	1				
59	75554	安全弁注意ラベル	1				
60	91138	ラベル；カイハイ(ヨコ)	1				
61	102220	ラベル；ワドメ	1				
62	104527	ラベル；1000 1020、1021	2				
	104535	ラベル；1500 1520、1521	2				
63	91049	マーク；NEW	2				
64	106812	マーク；液面-2	1				
65	106813	マーク；液面-3	1				
66	106164	ラベル；ケイコク1	1				
67	106460	ラベル；ケイコク46	1				
68	0930	ハンシャキ；R-150TR	⑧73付	2			
69	109734	プラケット；150TR		2			
70	00932	ハンシャキ；R-60CI	⑧73付	2			
71	BZ0820G	ボルト；M8×20		4			
72	NP08G	スプリングナット×M8		4			
73	NP05G	スプリングナット×M5		6			

TVC2520バキュームカータンク・ハッチ・ゲージ

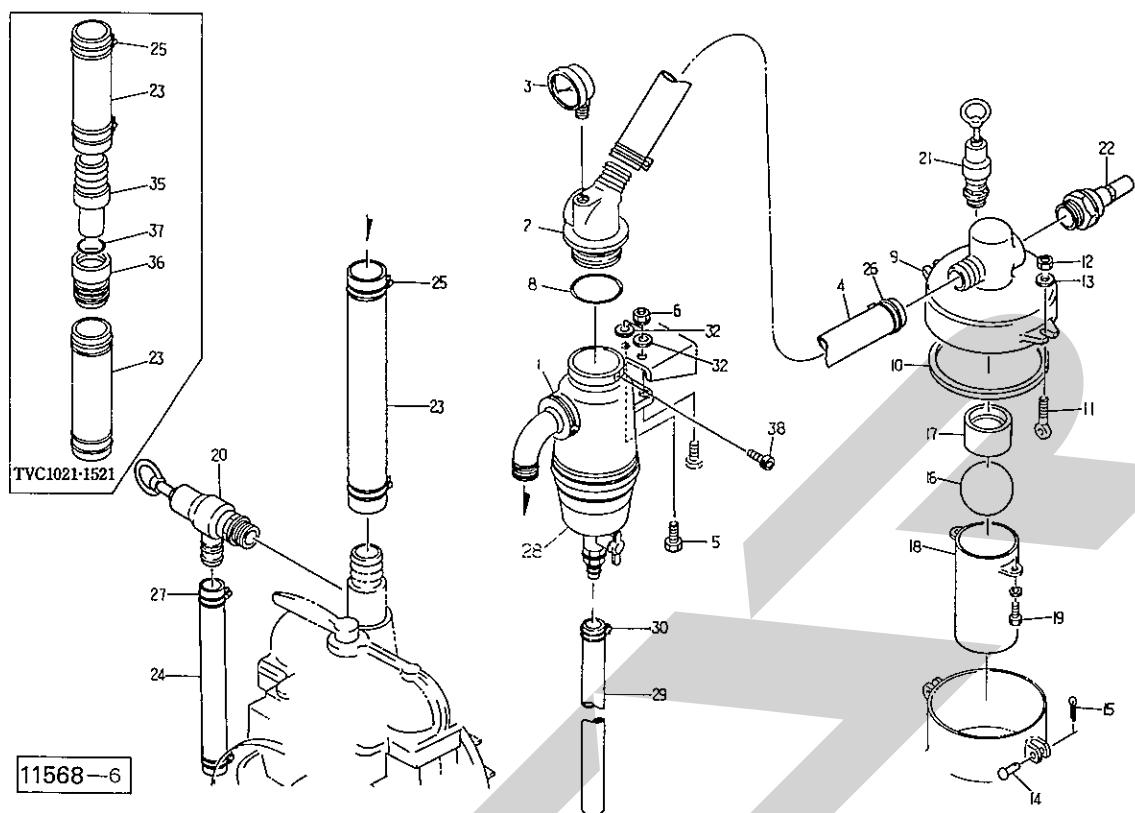


品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品番号	部品名称	個数
1	00088	ベータピン ; 19×3	1	29	58593	フックボルト	8
2	82013	プレート	1	30	BA0880G	ボルト ; M8×80	8
3	BC1025AP	ボルト ; M10×25 (SUS304)	4	31	81924	プレート	16
4	81556	ハッチガイド	1	32	NP08G	スプリングナット ; M8	8
5	36255	ブラケット	4	33	73037	ゲージ	1
6	BZ1025G	ボルト ; M10×25 (8.8)	3	34	PS5020	スプリングピン ; 5×20	1
7	NP10G	スプリングナット ; M10	7	35	58654	ゴムチューブ	1
8	82020	カガミ ; 1200	1	36	64230	ワイヤクランプ ; 23	2
9	65081	プレート	1	37	81935	アーム	1
10	65082	レベルゲージ	1	38	58656	ゲージフロート	1
11	65083	ガスケット	1	39	NZ12G	ナット ; M12 (8)	1
12	BC0845	ボルト ; M8×45 (SUS304)	8	40	64658	ビニールチューブ	1
13	NP08G	スプリングナット ; M8	8	ASY	81923ASY	レバー (クミ) (見27~32付)	1式
14	WA08	ワッシャ ; M8 (Aℓ)	8	41	83990	チャンネル	1
15	82021	パッキン ; 1200	1	42	00842	STARマークラベル (赤) ; 80	2
16	BA2060G	ボルト ; M20×60	2	44	106811	マーク ; 液面-1	1
17	WRA20G	ワッシャ ; M20	4	45	58541	チュウイマーク	1
18	NN20G	ナイロンナット ; M20	2	46	64162	チュウイラベル	1
19	BZ1235AG	ボルト ; M12×35 (8.8)	8	47	35576	ポンプキュウユラベル	1
20	64143	レバー	1	48	75554	安全弁注意ラベル	1
22	82014	キャップ	1	49	102220	ラベル ; ワドメ	1
23	ORG155	Oリング ; G155	1	50	104564	ラベル ; 2500	2
24	00451	カクネボルト ; M10×25 (8.8)	4	51	91049	マーク ; NEW	2
27	81923	レバー	8	52	106812	マーク ; 液面-2	1
28	81922	コマ	8	53	106813	マーク ; 液面-3	1

TVC2520バキュームカー タンク・ハッチ・ゲージ

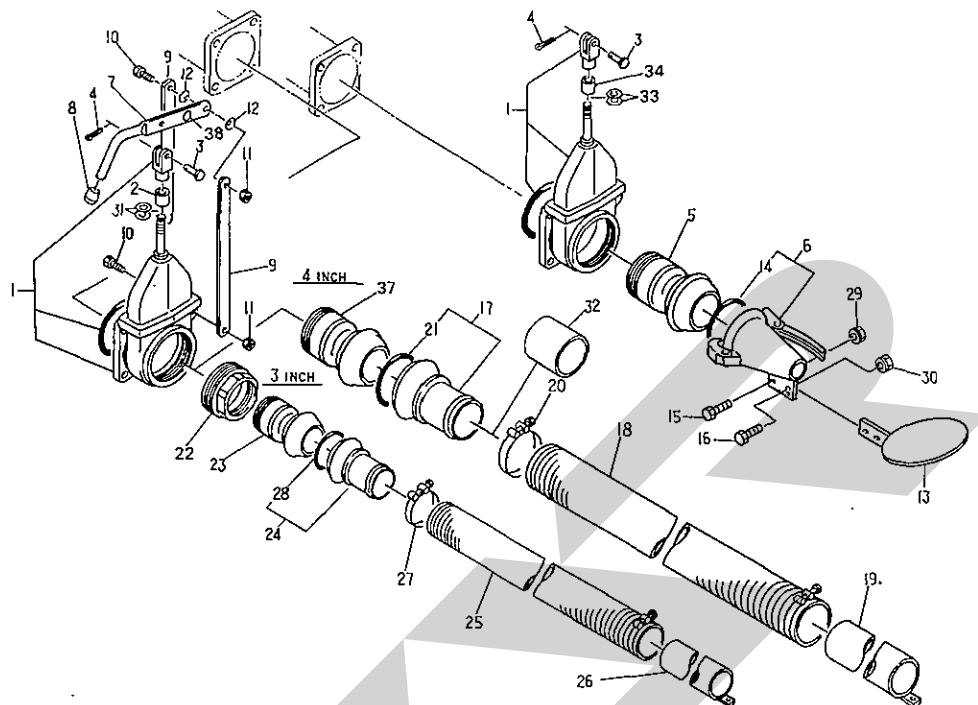


TVC1020・1021・1520・1521・2520バキュームカー アンゼンソウチ・ホース



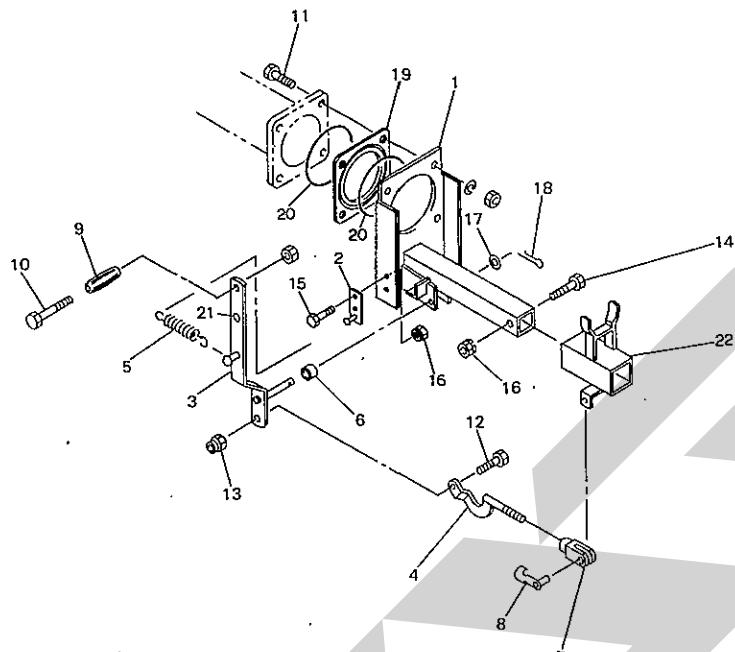
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	97682	サイホンバルブ ; φ60	1		84984	ホース ; φ38	2520
2	97684	45° パンチニップル	1	25	00715	ワイヤクランプ ; 75	1020、1520、2520
3	31890	レンセイケイ ; PT3/8	1		00715	ワイヤクランプ ; 75	1021、1521
4	81927	ホース ; φ45	1	26	35574	ワイヤクランプ ; 58	2
5	BZ1035G	ボルト ; M10×35 (8.8)	2	27	64259	ワイヤクランプ ; 50	2
6	NP10G	スプリングナット ; M10	2	28	97687	サイホンアップーケース	1
8	97690	Oリング	1	29	92986	ホース ; φ22	1020、1021
9	81931	マンホールキャップ ; φ45	1				1520、1521
10	81932	パッキン ; φ200	1	30	61272	ワイヤクランプ ; 32	1
11	24049	アイボルト	2	32	44098	ワッシャ ; 10	1020、1021
12	NZ12G	ナット ; M12(8)	2				1520、1521
13	42783	ワッシャ ; 12	2	35	106689	インナカッピング ; φ60	1021、1521
14	58671	ピン ; φ10×29	2	36	106690	カッピング ; φ60	1021、1521
15	PC3216G	ワリピン ; 3.2×16	2	37	ORP48	Oリング ; P48	1021、1521
16	58683	ストップボール	1	38	BH0816G	ロッカクアナボルト ; M8×16	2
17	82034	ボールウケ	1				
18	82174	パイプ	1				
19	BC1020W	ボルト ; M10×20 (SUS304)	2				
20	106735	アツリヨクベン ; 1 1/4"	1				
21	106734	アツリヨクベン ; 1"	1				
22	75593	シンクウベン ; 1 1/2"	1				
23	106272	ホース ; φ60	1020、1520	1			
	106271	ホース ; φ60	1021、1521	2			
23	82023	ホース ; φ60	2520	1			
24	75856	ホース ; φ38	1020、1021、1520、1521	1			

TVC1020・1021・1520・1521・2520バキュームカーサンプ・サクションホース



11574-4

品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品番号	部品名称	個数
1	75617	バルブ；4" Oリングフォークエンド付	2	26	65162	キュウニュウパイプ；3" 1020、1021、1520、1521	1
2	75946	パイプ	1	27	104434	クランプ；86 1020、1021、1520、1521	2
3	00055	ピン；10×35	2	28	75629	Oリング 1020、1021、1520、1521	1
4	PC3216G	ワリピン；32×16	2	ASY	75617-2ASY	バルブ(クミ)4" (レバー)	1式 ⑩1~4、7~12、31付
5	75831	カップリング；4"	1			ワッシャ；3.2×20	
6	76453	サンプノズル；4" ⑩14付	1	29	NP10G	スプリングナット；M10	1
7	65113	レバー	1	30	NP08G	スプリングナット；M8	1
8	00688	ニギリ；20	1	31	59097	ワッシャ；3.2×20	—
9	75949	プレート	2	32	87605	ゴムリング 2520	1
10	BZ1040G	ボルト；M10×40(8.8)	2	33	59097	ワッシャ；3.2×20 1020、1021、1520、1521	—
11	NN10G	ナイロンナット；M10	2	34	75946	パイプ 1020、1021、1520、1521	1
12	WC10G	サラワッシャ(1L)；M10	2	37	104560	カップリング；4"	1
13	75828	サンプザラ	1	38	91155	ラベル；カイハイ(タテ)	1
14	75829	Oリング	1				
15	BZ1025G	ボルト；M10×25(8.8)	1				
16	BZ0825G	ボルト；M8×25(8.8)	1				
17	104474	アダプタ；4" ⑩21付 2520	1				
18	65200	サクションホース；4"	2520	1			
19	65201	キュウニュウパイプ；4"	2520	1			
20	104436	クランプ；113	2520	2			
21	75829	Oリング 2520	1				
22	75632	ブッシュ；4" ×3" 1020、1021、1520、1521	1				
23	104559	カップリング；3" 1020、1021、1520、1521	1				
24	104480	アダプタ；3" ⑩28付 1020、1021、1520、1521	1				
25	65161	サクションホース；3" 1020、1021、1520、1521	1				

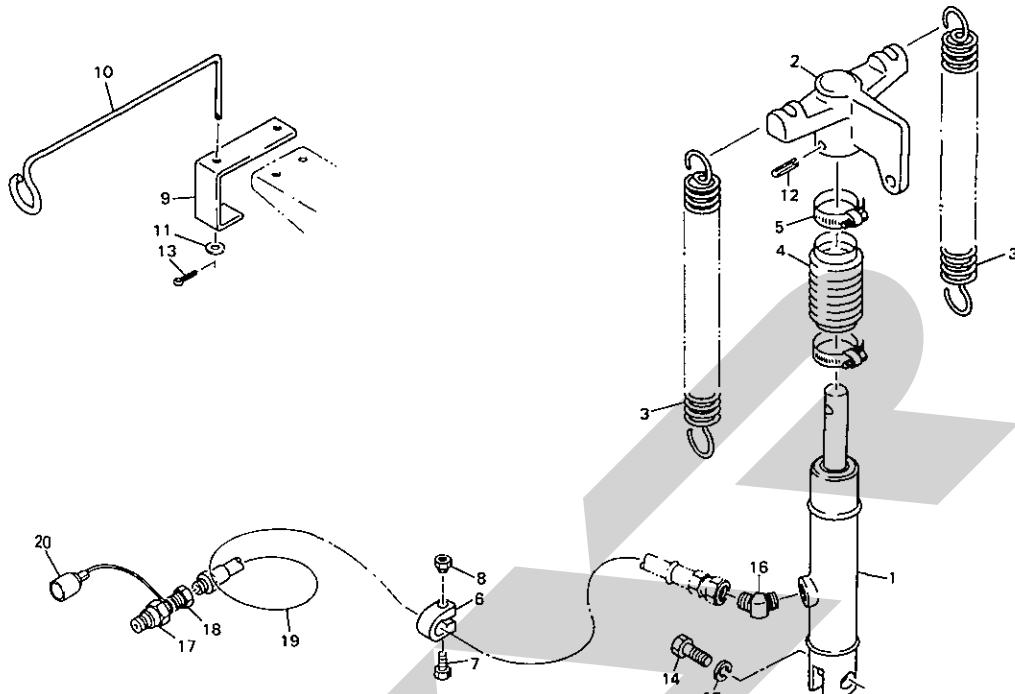


12599-3

器番	部品番号	部品名称	個数	器番	部品番号	部品名称	個数
1	109247	プラケット	1				
2	109164	プラケット	1				
3	104403	ハンドル	1				
4	104420	レバー	1				
5	84083	スプリング	1				
6	79013	カラー	1				
7	93754	フォークエンド ; 12×48	1				
8	93755	ピン ; 12×48	1				
9	24118	グリップ	1				
10	BZ1290NG	ボルト ; M12×90 (8.8)	1				
11	BZ1245AG	ボルト ; M12×55 (8.8)	4				
12	BZ1230G	ボルト ; M12×30 (8.8)	1				
13	NN12G	ナイロンナット ; M12	1				
14	BZ1065G	ボルト ; M10×65 (8.8)	1				
15	BZ1030G	ボルト ; M10×30 (8.8)	2				
16	NP10G	スプリングナット ; M10	3				
17	WRA16G	ワッシャ ; M16	1				
18	PC4025G	ワリピン ; 4×25	1				
19	105837	プレート	1				
20	ORG160	Oリング ; G160	2				
21	106810	ラベル ; 着脱	1				
22	109168	ホースウケ ; 3" 1020、1021、1520、1521	1				
	109167	ホースウケ ; 4" 2520	1				

AHV4000

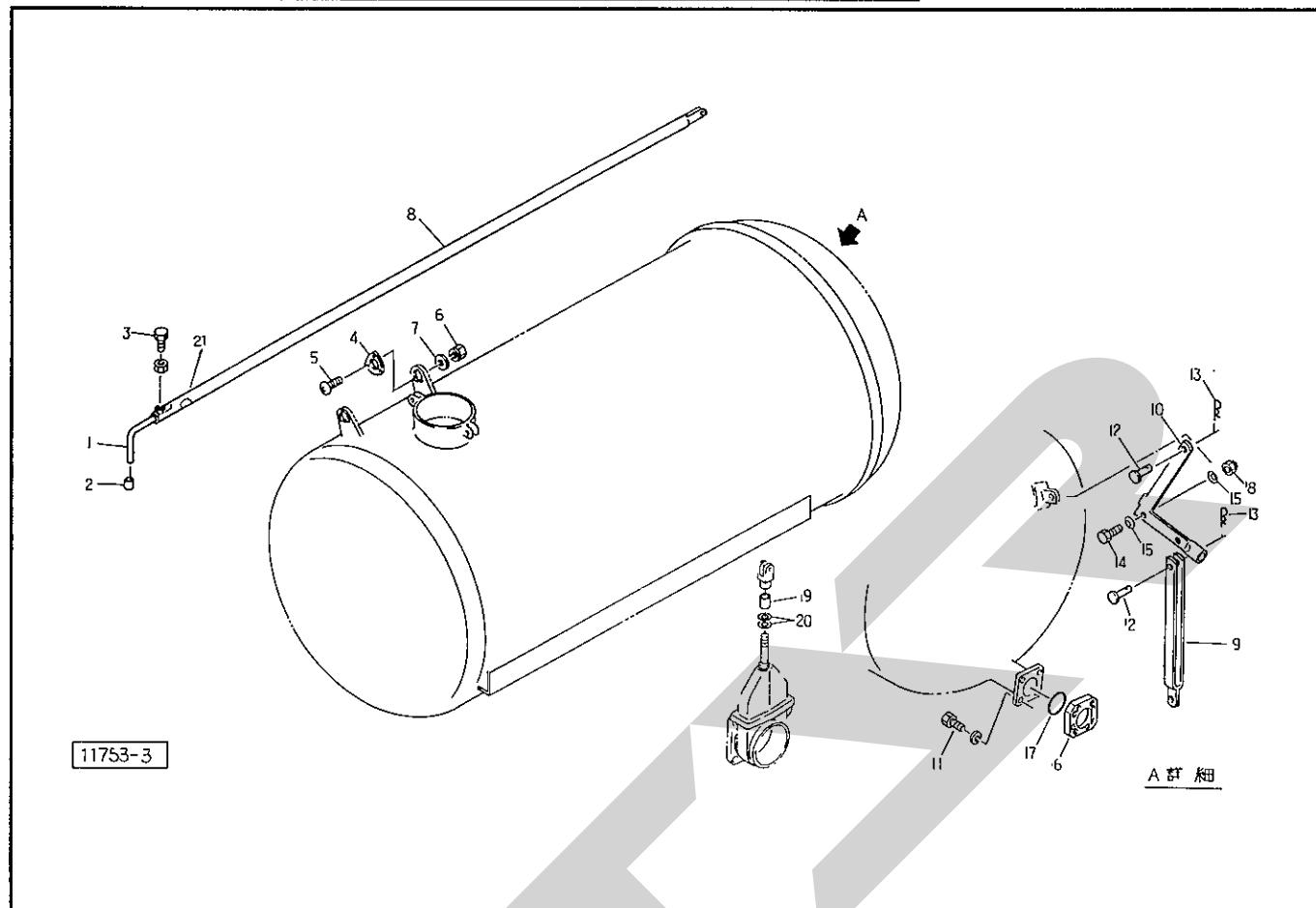
油圧開閉ユニット (TVC2520に標準装備、TVC1020、1021、1520、1521にオプション)



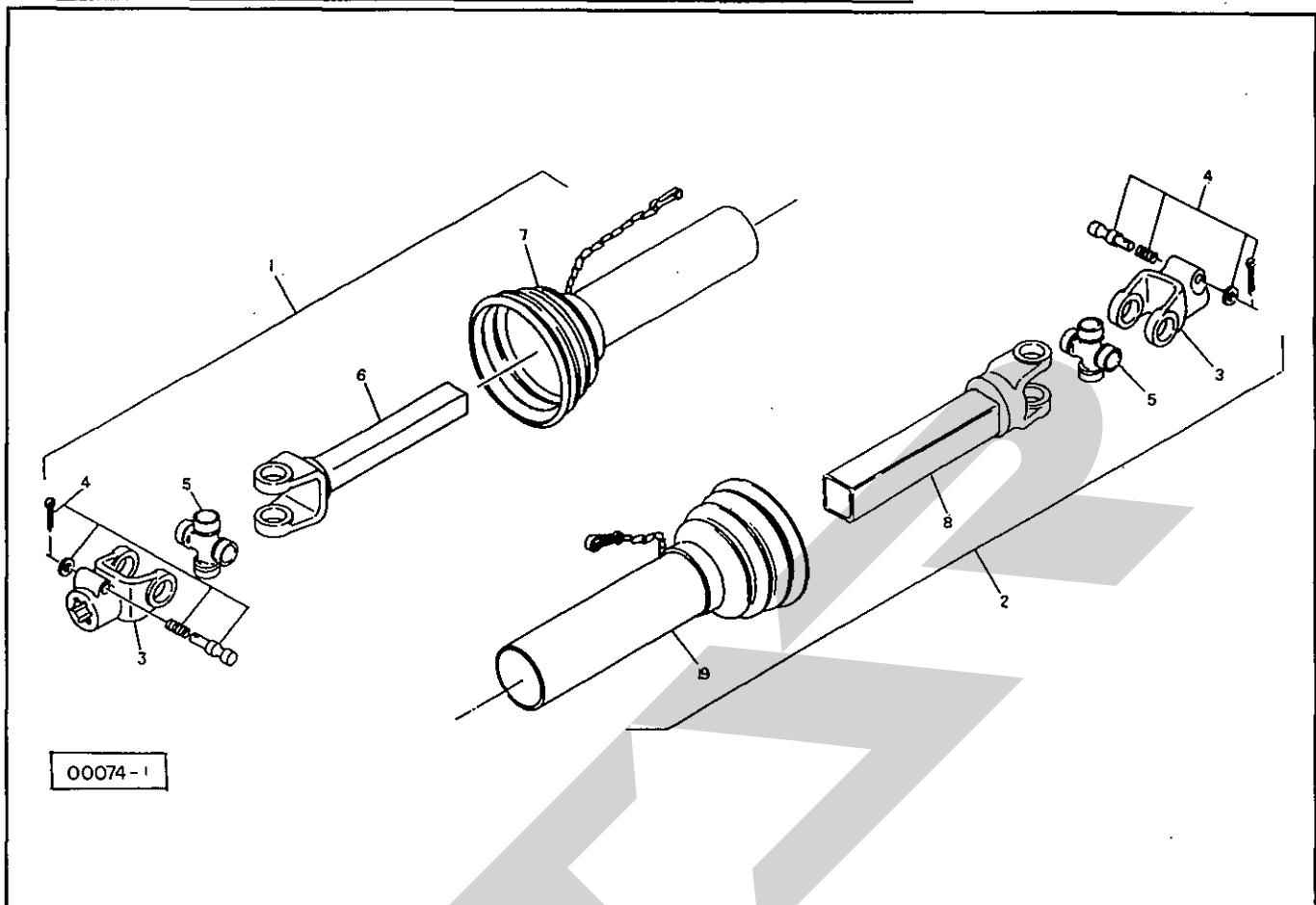
11872-1

番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	82028	シリンダ；φ20×90ST	1			注 TVC2520 標準装備	
2	82029	アーム	1			TVC1020、1021、1520、1521 オプション	
3	82030	スプリング	2				
4	64356	ブーツ	1				
5	00444	ジザイクランプ；50	2				
6	72183	クリップ TVC1020、1021、1520、1521	2				
	72183	クリップ TVC2520	3				
7	BZ0845G	ボルト；M8×45(8.8) TVC1020、1021、1520、1521	2				
	BZ0845G	ボルト；M8×45(8.8) TVC2520	3				
8	NN08G	ナイロンナット；M8 TVC1020、1021、1520、1521	2				
	NN08G	ナイロンナット；M8 TVC2520	3				
9	82140	ブラケット	1				
10	71615	ホースウケ	1				
11	WRA10G	ワッシャ；M10	1				
12	PS8040	スプリングピン；8×40	1				
13	PC3216G	ワリピン；3.2×16	1				
14	BZ1245G	ボルト；M12×45(8.8)	1				
15	WSA12G	Sワッシャ；M12	1				
16	YLH20	エルボ(45°)；PT1/4×PF1/4	1				
17	CLF30M	カプラ(オス)；3/8	1				
18	KB3020	ブッシング；PT3/8×PT1/4	1				
19	84130	ホース；1/4×6300	1				
20	00776	カプラキャップ；3/8	1				

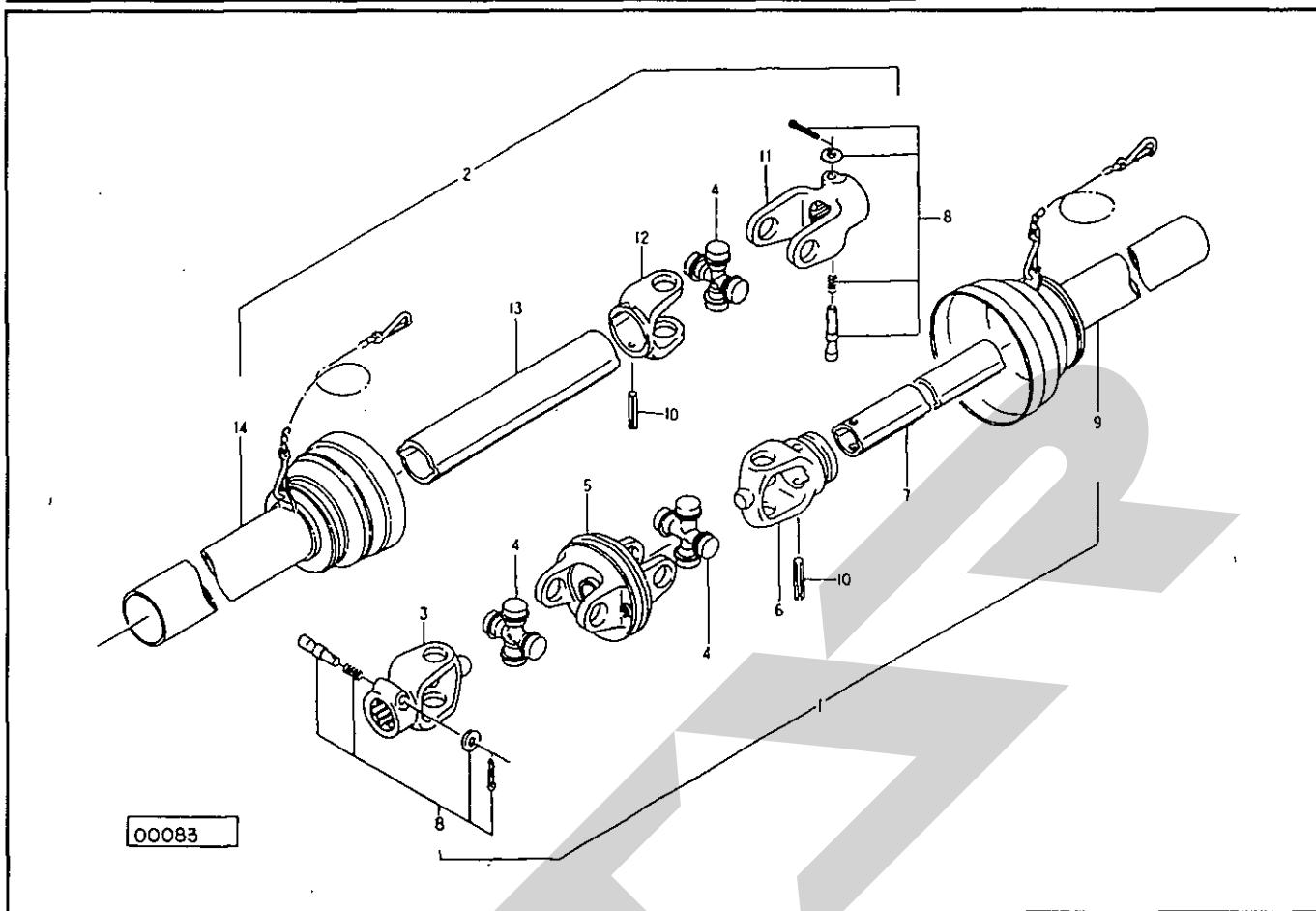
AOV2500 手動開閉ユニット（オプション）TVC2520用



SG-040・SG-070 パワージョイント



WS-70 パワージョイント





本 社 066-8555 千歳市上長都1061番地2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千歳営業所 066-8555 千歳市上長都1061番地2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

旭川営業所 070-8004 旭川市神楽4条9丁目3番31号
TEL 0166-61-6131
FAX 0166-62-8985

豊富出張所 098-4100 天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯広営業所 080-2462 帯広市西22条北1丁目12番地
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

北見出張所 090-0001 北見市小泉302
TEL 0157-24-3880
FAX 0157-61-1344

中標津営業所 086-1152 標津郡中標津町北町2丁目16番2
TEL 01537-2-2624
FAX 01537-3-2540

花巻営業所 025-0312 岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1
TEL 0198-26-5741
FAX 0198-26-5746

仙台営業所 985-0845 宮城県多賀城市町前2丁目4番27号
TEL 022-367-4573
FAX 022-367-4846

小山営業所 323-0158 栃木県小山市梁2512-1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

名古屋営業所 480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191
TEL 0587-93-6888
FAX 0587-93-5416

松本出張所 399-0033 長野県松本市大字笹賀5824-5
TEL 0263-26-5731
FAX 0263-26-5761

岡山営業所 700-0973 岡山県岡山市下中野704-103
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊本営業所 862-0939 熊本県熊本市長嶺南1丁目2番1号
TEL 096-381-7222
FAX 096-384-3525

都城営業所 885-0004 宮崎県都城市都北町3537-1
TEL 0986-38-1045
FAX 0986-38-4644